

# 令和7年度奈良県政策集

～限りない可能性を最大限に引き出すために～



奈良県  
令和7年2月発行

## 限りない可能性を最大限に引き出すために

奈良県には、世界に誇る歴史文化遺産、豊かな自然や景観、大都市近郊の利便性などの魅力があります。一方で、仕事と子育ての両立のしにくさ、県内経済の低迷、インフラ整備の遅れなどの課題もあります。

奈良県の発展には、素晴らしい魅力など、守るべきところは守り、課題解決のため、変えるべきところは変えていかなければなりません。

知事就任以来、「私立高校の授業料の実質無償化」や「ならの道リフレッシュプロジェクト」を始めるなど、奈良県の発展に向けたさまざまな種まきができました。ただ、奈良県が持つ限りない可能性を最大限に引き出し、県民の皆さまに暮らしの豊かさを実感していただくための取組はまだ始まったばかりです。

今回とりまとめた「令和7年度奈良県政策集」には、奈良県の発展のために取り組む主な施策を盛り込んでいます。まいた種が花を咲かせ、実をつけられるよう、これらの施策を着実に実行してまいります。

令和7年2月

奈良県知事 山下 真

# 目次

---

## 令和7年度に重点的に取り組む施策

..... 3

## 各分野で取り組む施策

..... 25

## 「各分野で取り組む施策」と 「SDGsの17ゴール」との関係

..... 45

# 令和7年度に重点的に取り組む施策

## I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

|                     |   |
|---------------------|---|
| 県民の命と財産を守るための防災力の強化 | 4 |
| 発達障害児(者)の支援         | 4 |
| 高齢者にやさしい奈良県づくり      | 5 |
| 県立病院機構の経営改革への支援     | 5 |
| 西和医療センターの移転整備       | 6 |

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

|              |    |
|--------------|----|
| こども・子育て施策の推進 | 6  |
| 不妊治療に対する支援   | 10 |
| 高校授業料の無償化    | 10 |
| 県立学校の環境改善    | 11 |

## III 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 脱炭素社会の実現                     | 11 |
| 産業政策のパッケージ2025               | 13 |
| 奈良スタートアップ・プログラム              | 15 |
| 大和平野中央の県有地の活用                | 15 |
| 戦略的な観光振興施策                   | 16 |
| 奈良の食と農の魅力づくり                 | 19 |
| 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進 | 20 |
| 国スポ・全スポ奈良大会準備の推進             | 21 |
| 南部東部地域の振興                    | 21 |

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

|                       |    |
|-----------------------|----|
| リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等 | 22 |
| 道路整備の加速化              | 23 |
| 大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興 | 24 |
| 県庁の働き方・職場環境の改革        | 24 |

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

## 県民の命と財産を守るための防災力の強化

**R 7 予算案 2,952百万円**  
**R 8～11債務負担行為 251百万円**  
 (R 6 予算 57百万円)

### ① 新 近畿府県合同防災訓練を実施

R 7 予算案 60百万円 (R 6 予算 - )  
 ・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練及び奈良県防災総合訓練を一体的に実施し、大規模災害発生時における広域的な防災体制の強化や、防災関係機関の連携強化、県民の防災意識の高揚を図る



①倒壊ビル救出訓練の様子

### ② 大規模災害発生時の応急対策を強化

R 7 予算案 131百万円  
 (R 6 予算 55百万円)  
 R 8 債務負担行為 30百万円  
 ・新 南海トラフ地震等の大規模災害時に、応援部隊や支援物資等を迅速かつ円滑に受け入れるため、南部中核拠点の整備を推進 R 7、先行整備を予定  
 ・広域防災拠点の運用について、具体的な検討や訓練を実施



②南部中核拠点先行整備 (イメージ)

### ③ 自主防災組織の育成支援

R 7 予算案 3百万円 (R 6 予算 3百万円)  
 ・自主防災・防災リーダー研修等により、自助・共助の体制整備を推進

### ④ 新 消防防災ヘリコプターを再整備

R 7 予算案 2,691百万円 (R 6 予算 - )  
 ・奈良県消防防災ヘリコプターの老朽化に伴い新機体を購入



④新しい奈良県消防防災ヘリコプター (イメージ)

### ⑤ 新 消防学校移転整備を推進

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 - )  
 ・消防学校教育の充実に向け、消防学校の機能強化にかかる検討・調査を実施

### ⑥ 新 奈良県救急医療管制システムを更新

R 7 予算案 58百万円 (R 6 予算 - )  
 R 8～11債務負担行為 221百万円  
 ・搬送時間の短縮を図るため、救急車積載器機との連携による患者情報入力省力化等の新機能を含む救急医療管制システムを再整備

P.26 安全・安心の確保

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

## 発達障害児(者)の支援

**R 7 予算案 93百万円 (R 6 予算 88百万円)**

### ① 当事者とその家族に寄り添い、伴走する体制の充実

R 7 予算案 60百万円  
 (R 6 予算 60百万円)  
 ・県発達障害者支援センターに R 6 に増員した相談員 (7名)・地域支援マネージャー (2名) を継続して配置  
 ・乳幼児健診等における発達特性発見スキル向上のための市町村向け研修を実施



### ② 早期に適切な発達支援につなげる仕組みの構築

R 7 予算案 15百万円  
 (R 6 予算 16百万円)  
 ・県総合リハビリテーションセンターに R 6 に増員した小児科医師 (常勤3名、非常勤2名) を継続して配置  
 ・発達障害医療を担える小児科医の育成のために専攻医 (2名) を県総合リハビリテーションセンターに継続して受入れ  
 ・臨床心理士を市町村に派遣し、診断前のアセスメントを行うとともに保健師等への助言や家族支援を実施

### ③ 当事者を中心に、地域でチームとして支援する体制の整備促進

R 7 予算案 18百万円  
 (R 6 予算 13百万円)  
 ・児童発達支援センターの設置や保育所への巡回支援等に取り組む市町村に対し補助  
 ・地域の障害児支援の質を高めるため、障害児支援事業所等へのスーパーバイズ等を強化  
 ・診断に携わる医師間の連携強化、地域で支援を行う福祉事業所・学校等のネットワークの構築



(支援イメージ)

P.27 福祉の充実

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

## 高齢者にやさしい奈良県づくり

R 7 予算案 1,315百万円 (R 6 予算 1,342百万円)

R 6. 2月補正予算案 252百万円

高齢者が健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、要介護状態の予防や介護保険制度の持続可能性向上に取り組み、「高齢者にやさしい奈良県づくり」を目指す。

### ①介護予防の充実

R 7 予算案 1,112百万円 (R 6 予算 1,073百万円)

高齢者が健康で生きがいをもって暮らし続けられるよう、市町村が行う介護予防の取組を支援

#### ○地域活動事例の展開

- ・**新**先進的な取組事例の普及や個別支援を実施

#### ○地域支援事業交付金による財政支援



住民主体で行う「いきいき百歳体操」(大淀町)

### ②介護給付の適正化

R 7 予算案 7百万円 (R 6 予算 2百万円)

高齢化の進展に伴う介護給付費の増加に対処するため、市町村が行う介護給付の適正化を支援

#### ○ケアプラン点検の強化

- ・ケアプラン点検に関する研修の実施、ケアマネジャーの派遣
- ・**新**有料老人ホーム等における不適切なケアプランの点検を支援

### ③介護人材の確保・定着

R 7 予算案 196百万円・R 6. 2月補正予算案 252百万円  
(R 6 予算 268百万円)

介護人材の確保と定着を図るため、介護ロボット等の導入による職場環境の改善と外国人材の活用を強化

#### ○介護ロボット等を導入する介護事業所に対する支援

- ・介護ロボットの導入促進の支援をさらに強化
- ・**新**介護ロボット等の導入や活用に関する相談センターを設置

(介護ロボット等の一例)



装着型の介護ロボットを活用し、介護職員の身体的負担を軽減

#### ○外国人材の活用に取り組む介護事業所に対する支援

- ・**新**海外における学校との連携や広報に要する経費を補助

#### ○介護福祉士修学資金貸付等による介護人材確保の取組の推進

P.27 福祉の充実

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

## 県立病院機構の経営改革への支援

R 7 当初予算案 3,382百万円

R 6・2月補正予算案 4,000百万円

(R 6 予算 3,260百万円)

### ①経営改善に必要な経費に対して貸付け

R 6 2月補正予算案 **新** 4,000百万円

- ・多額の赤字を抱える県立病院機構の経営安定化を支援するため、運営資金について、長期的に低利で貸し付け、金利負担を軽減

### ②政策医療の実施等のため運営費交付金により支援

R 7 予算案 3,382百万円 (R 6 予算 3,260百万円)

- ・県立病院機構が行う、救急医療や周産期医療等の政策医療の実施に係る経費を支援
- ・県立病院機構が行った、病院施設や医療機器の整備に係る財政負担を軽減



奈良県総合医療センター 救急医療



奈良県総合医療センター 周産期医療

P.28 医療の充実

## I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

### 西和医療センターの移転整備

R7 予算案 259百万円  
(R6 予算 131百万円)

#### ①新しい西和医療センターの移転整備に向け、設計に着手

R7 予算案 106百万円 (R6 予算 18百万円)

- ・(新) 造成設計、建築設計
- ・道路交差点設計

#### ②用地取得に向けた関連手続きを実施

R7 予算案 154百万円 (R6 予算 113百万円)

- ・用地取得に向けた補償調査、不動産鑑定調査等
- ・関係機関との協議等を実施



JR法隆寺駅南側地区付近図

#### 〈建物概要〉

- 病床数：300床 (現病院：300床)
- 建築延床面積：27,000㎡程度 (現病院：約20,000㎡)
- 病院建物
  - ・地上4階建て程度
  - ・屋上ヘリポート、免震構造 (災害拠点病院の指定を目指す)

P.28 医療の充実

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進①

R7 予算案 10,681百万円 R6・2月補正予算案 49百万円  
R8～9 債務負担行為3,615百万円 (R6 予算 8,587百万円)

- 令和6年度において、本県のこども政策を総合的に推進するための「奈良県こどもまんなか未来戦略」を策定
- 未来戦略の9つの取組方針に基づき、令和7年度実施事業について検討し、以下の主な取組を実施

#### 取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

- こども・若者への意見聴取と反映を実施
  - R7 予算案 5百万円 (R6 予算 3百万円)
  - ・こども・若者が、自らが当事者となる施策に参画できる機会を確保し、「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、意見発表の場を提供

#### 取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

- 若者のライフデザイン実現に向けた支援
  - R7 予算案 6百万円 (R6 予算 7百万円)
  - ・将来の選択肢が制限されることのないよう、早い段階から正しい情報に触れ、結婚や子育てなどライフイベントについて考える機会(ライフデザイン)を提供

《その他、別ページに掲載の取組》

- 困難な問題を抱える女性への支援
  - R7 予算案 10百万円 (R6 予算 1百万円)
  - (「困難な問題を抱える女性への支援」参照)

#### 取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上

- 若者に県内企業を知ってもらう機会の創出
  - R7 予算案 6百万円 (R6 予算 6百万円)
  - ・高校生が県内企業を訪問することで、適性や仕事について考える機会を提供
- オンラインを活用したリカレント教育による就職支援
  - R6・2月補正予算案 30百万円 (R6 予算 -)
  - ・求職者と企業をマッチングし、オンライン研修と企業内実践訓練を通じて、企業が求める知識・能力を有する人材を育成
- 企業単独では困難な在職者のキャリアアップの支援
  - R6・2月補正予算案 15百万円 (R6 予算 -)
  - ・ITスキルやマネジメントスキルなど、多彩なカリキュラムのeラーニング環境を提供

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進②

#### 取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- 働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進  
R7予算案 73百万円 (R6予算 102百万円)  
・企業における業務改善を支援するとともに、就労を希望する女性に対して、リスキリングと、企業とのマッチングを支援
- ワクワクする職場環境づくりの推進  
R7予算案 3百万円 (R6予算 3百万円)  
・働きやすい職場づくりに取り組んでいる事例の紹介や、企業・団体等のトップに向けた実効性のあるセミナーや意見交換の機会を提供

#### 取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実

- こども・子育てDXの推進  
R7予算案 6百万円 (R6予算 6百万円)  
・こども・子育て分野のDXを推進するため、市町村との電子母子手帳アプリ等のシステムの共同化等を検討

#### 取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

- こども食堂（こどもの居場所）への支援  
R7予算案 31百万円 (R6予算 18百万円)  
・(新)企業版ふるさと納税を活用し、新たにこども食堂を開始する際の開設経費に対し補助  
・こども食堂コーディネーターを配置し、開設・運営にかかる相談、民間協力企業とこども食堂のマッチング等の支援を実施  
・「奈良県安心・安全こども食堂認証制度」をこども食堂に普及させるため、認証の取得・維持に必要な経費に対し補助  
・調理や遊びを通じたこどものはぐくみ活動を促進するため、こども食堂の食事を一定期間無料化するこども食堂に対し補助
- (新)公設フリースクールの整備  
R7予算案 17百万円 (R6予算 - )  
・メタバースを活用したオンライン環境を構築し、多様な学びの場、居場所の確保による不登校支援  
《その他、別ページに掲載の取組》  
○(新)妊産婦等への支援の強化  
R7予算案 22百万円 (R6予算 - )  
(「困難な問題を抱える女性への支援」参照)  
○ヤングケアラーへの支援の強化  
R7予算案 267百万円 (R6予算 226百万円)  
(「ヤングケアラーへの支援の強化」参照)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進③

#### 取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

- 保育士の処遇改善  
R7予算案 349百万円 (R6予算 326百万円)  
・県内保育士の処遇改善を実施し、民間保育所等における保育士給与等の透明化を図ることにより、保育人材の確保・定着を促進  
常勤保育士等の処遇改善（給与加算）に取り組む市町村に対し1/2を補助  
(県の補助上限額：1人あたり1万円/月)  

```
graph TD
    M[市町村] -- 補助 --> MF[民間保育施設]
    M -- 給与加算 --> CW[保育士]
    P[県] -- 支援(補助) --> M
    MF -- 結果報告 --> P
    CW -- 結果報告 --> P
    P -- 処遇改善実施結果を公表 --> T[保育士給与等の透明化]
    T --> S[保育人材の確保・定着を促進]
```
- (新)教育行政に係る法務相談体制の整備  
R7予算案 5百万円 (R6予算 - )  
・学校等への過剰な要求や学校事故などの諸課題に対応するため法務専門家の派遣体制を整備  
法務専門家（弁護士）を選任し、県立学校、県及び市町村教育委員会への法務相談、研修及び出前授業等を実施  
《その他、別ページに掲載の取組》  
○(新)ベビーシッターを利用した子育て支援  
R7予算案 18百万円 (R6予算 - )  
(「子育て世帯への支援の拡充」参照)  
○発達障害児への支援  
R7予算案 93百万円 (R6予算 88百万円)  
(「発達障害児(者)の支援」参照)  
○高等学校授業料等の支援制度を拡充  
R7予算案 1,283百万円 (R6予算 1,259百万円)  
(「高校授業料の無償化」参照)  
○県立学校の環境改善  
R7予算案 2,740百万円 (R6予算 1,303百万円)  
R8債務負担行為 3,118百万円  
(「県立学校の環境改善」参照)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進④

#### 取組方針⑧ 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

《その他、別ページに掲載の取組》

##### ○不妊治療の支援

R 7 予算案 94百万円 (R 6 予算 7百万円)  
(「不妊治療に対する支援」参照)

#### ○ぬくもりあふれる公園プロジェクト

R 7 予算案 262百万円 (R 6 予算 178百万円)

R 8 債務負担行為 130百万円

・全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の設計・整備を実施



手すりの設置、段差の解消



トイレの整備



授乳施設の設置



おもいやり駐車場の設置



休憩施設の設置

#### 取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

##### ○まほろば健康パークの機能強化

R 7 予算案 95百万円 (R 6 予算 14百万円)

R 8～9 債務負担行為 35百万円

・すべての人が利用できる、インクルーシブな公園を目指し、まほろば健康パークの機能を強化するため、基本設計等を実施



##### (※) その他こども・子育て施策に係る予算

R 7 予算案 5,295百万円 R 6・2月補正予算案 4百万円

R 8 債務負担行為 333百万円 (R 6 予算 5,043百万円)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進 (困難な問題を抱える女性への支援)

R 7 予算案 32百万円  
(R 6 予算 1百万円)

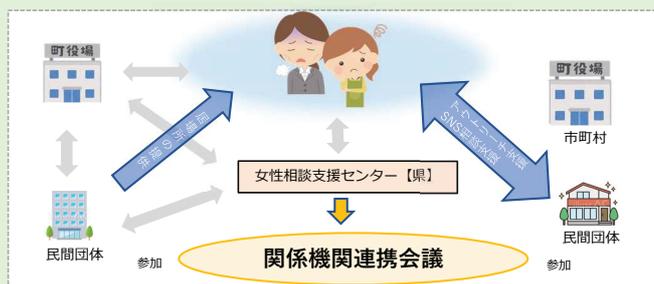
様々な事情により日常生活又は社会生活を営む上で困難な問題を抱える女性に対して支援を強化

#### ① 民間団体等と連携し、地域での自立・定着まで、切れ目なく重層的な支援を実施

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 1百万円)

・困難な問題を抱える女性への支援を適切かつ円滑に行うため、包括的な体制構築に向けた民間団体等や市町村との連携会議を開催

・**新** アウトリーチ等による困難な問題を抱える女性の早期把握や一時的な居場所が必要と判断された女性に対する安心・安全な居場所の確保など、民間団体等が実施する困難な問題を抱える女性への支援に対し補助



#### ② **新** 特定妊婦等に対し、面接や訪問相談等により状況を確認し、関係機関へ確実につなぐ体制を整備

R 7 予算案 12百万円 (R 6 予算 —)

・特定妊婦や性に関する疾病等に悩む若者に対し、面談・訪問相談等により状況を把握し、関係機関と連携を行うとともに、産科受診等医療機関への同行支援を行い、対象者の気持ちに寄り添った支援の実施

#### ③ **新** 家庭生活に支障が生じている妊産婦や出産後の母子等に対して支援を実施

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 —)

・利用者の状態に応じた支援計画の作成

・望まない妊娠に対する葛藤の相談やこどもの養育相談、自立に向けた相談等の相談支援

・入居又は通いによる居場所や食事の提供等の生活支援

・医療機関受診、就労支援機関の利用、行政手続等の同行支援

・児童相談所や市町村、医療機関等の関係機関との連携



P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進 (ヤングケアラーへの支援の強化)

R7予算案 267百万円  
(R6予算 226百万円)

#### ① ヤングケアラー支援体制を構築

R7予算案 11百万円 (R6予算 1百万円)

- ・(新)新たにヤングケアラー・コーディネーターを配置するなど、市町村や福祉・介護・教育民間支援団体等の関係機関等と連携して、発見・把握支援体制を構築
- ・ヤングケアラー等に関する実態調査の実施

主に18歳以上のヤングケアラーの早期発見にも対応

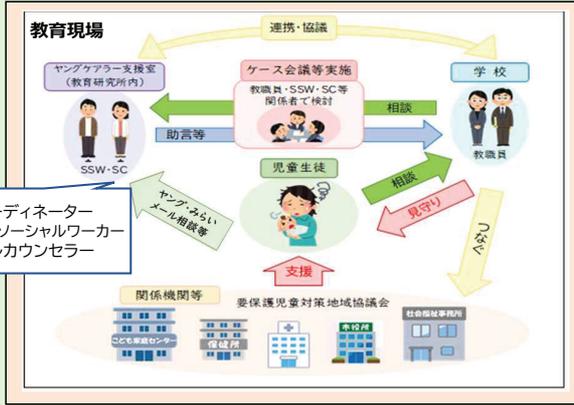
県・市町村  
ヤングケアラー・コーディネーター  
(県委託)

ヤングケアラー



地域・活動圏域で支援

学校 こども家庭センター 地域包括支援センター 医療機関 こども食堂 民間支援団体 等



・支援コーディネーター  
・スクールソーシャルワーカー  
※スクールカウンセラー

#### ② 教育現場における支援体制の拡充

R7予算案 256百万円 (R6予算 225百万円)

令和5年度から教育委員会にヤングケアラー支援室を設置し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置

引き続き、以下の取組を実施

- ・児童生徒一人一人の実情に応じた福祉的・心理的支援等のコーディネート
- ・学校・市町村教育委員会等からの相談受付、メール相談窓口(ヤング・みらい)の運営等

**令和7年度より、スクールカウンセラーを全公立小学校に配置拡充**  
(令和6年度 77校 → 令和7年度 178校)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### こども・子育て施策の推進 (子育て世帯への支援の拡充)

R7予算案 18百万円  
(R6予算 - )

#### 新ベビーシッターを利用した子育て支援の実施

- ・就労の有無に関わらず、子育て支援の一環として、県が試行的に実施するベビーシッターを利用した子育て支援事業を活用し、利用料助成を行う市町村を支援

##### 【補助対象額】

市町村が利用者に対して助成する額の1/2

##### 【県の補助上限額】

対象の子1人あたり1,500円/回かつ36,000円/年

##### 【対象年齢】

0歳～3歳未満

##### 【補助対象サービス】

認可外の居宅訪問型保育事業  
(育児支援、外出支援、送迎支援、家事支援)

#### 補助対象サービス

認可外の居宅訪問型保育事業



育児支援



外出支援

(保護者が病院や買い物に行く際の付き添い等)



送迎支援

(園や習い事への送り迎え等)



家事支援

(炊事・洗濯・掃除等)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### 不妊治療に対する支援

R 7 予算案 94百万円  
(R 6 予算 7百万円)

#### ① 不妊治療費助成を行う市町村への補助

R 7 予算案 88百万円

- ・不妊に悩む夫婦等の経済的・精神的な負担を軽減し、妊娠を望む全ての人が、積極的に治療に取り組めるよう支援
- ・不妊治療費助成を行う市町村への補助を実施  
補助率 県1/4・市町村1/4・自己負担1/2

補助対象 (1) 保険適用治療  
(2) 保険適用対象治療の回数制限を超えた治療 (2回分)  
(3) (1) 又は (2) と組み合わせて実施される先進医療  
上 限 額 1回の治療あたり (1) と (3) は5万円 (2) は15万円

#### 一般不妊治療【保険適用】

- 保険適用対象治療
- 1) 採卵、採精 (男性不妊)
  - 2) 体外受精、顕微授精
  - 3) 受精卵・胚培養
  - 4) 胚凍結保存
  - 5) 胚移植
- 【保険適用】※年齢・回数制限あり(1子ごと)  
・40歳未満 通算6回まで  
・40歳以上43歳未満 通算3回まで
- 【保険適用外】  
回数制限の超過分

先進医療として認められた医療技術【保険適用外】  
\* 保険適用対象治療1~5)に追加的に実施されるもの

先進医療として認められていない医療【保険適用外】

#### ② 性と健康の相談センター「ならはぐ」の運営

R 7 予算案 7百万円  
(R 6 予算 7百万円)

- ・不妊・不育症、妊娠・出産、思春期の悩みなどに対し、若年層も相談しやすいオンライン相談窓口を設置し、専門職による相談を実施
- ・性と健康に関するセミナーの実施



P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### 高校授業料の無償化

R 7 予算案 1,283百万円 (R 6 予算 1,259百万円)

#### 高等学校授業料等の支援制度を拡充 (国の就学支援金に県が上乗せして支援)

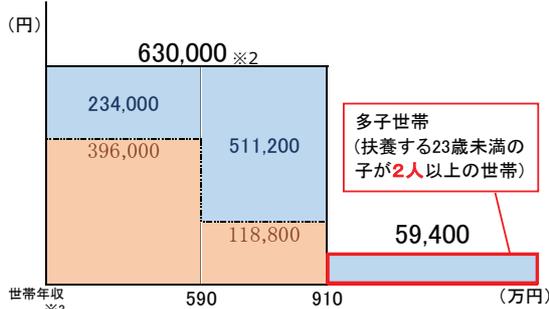
子どもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料等を支援

対象世帯：県内に保護者が在住し、子どもが県内の高等学校等に通う世帯

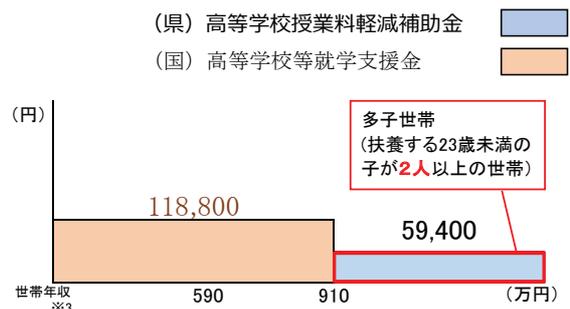
拡充内容：世帯年収(目安)910万円以上の世帯への支援対象を  
扶養する23歳未満の子が  
「3人以上の世帯」から「2人以上の世帯」に拡大

|     | 23歳未満の子の扶養人数 |         |         |
|-----|--------------|---------|---------|
|     | 1人           | 2人      | 3人以上    |
| R 6 | 0円           | 0円      | 59,400円 |
| R 7 | 0円           | 59,400円 | 59,400円 |

#### 【私立高等学校等※1 (全日制・定時制) の支援イメージ】



#### 【県立高等学校 (全日制) の支援イメージ】



※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制)) (通信制高校については、県内に設置された県認可校に限る)  
 ※2 通信制は32万1000円  
 ※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

P.31 教育の充実

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

### 県立学校の環境改善

R7 予算案 2,740百万円 R8 債務負担行為 3,118百万円  
(R6 予算 1,303百万円)

#### ① 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

R7 予算案 1,120百万円 (R6 予算 276百万円)  
R8 債務負担行為 2,590百万円

○令和7年度は10校で洋式化・乾式化の工事を実施

改修後イメージ



#### ② 特別教室、体育館への空調設備の設置

R7 予算案 114百万円 (R6 予算 93百万円)

【特別教室】

・稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置 (8校19室)

【体育館】

・授業中等の熱中症対策のために空調設備を設置

(県立高校：全体設置計画作成、特別支援学校：4校に設置)



#### ③ 県立学校の老朽化対策

R7 予算案 1,507百万円 (R6 予算 935百万円)  
R8 債務負担行為 527百万円

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等

P.31 教育の充実

## Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

### 脱炭素社会の実現①

R7 予算案 4,050百万円 R6・2月補正予算案 368百万円  
(R6 予算 2,788百万円)

#### 奈良県脱炭素戦略(令和7年3月策定)の推進

- エネルギーを「つくる」、「ためる」、「かしこくつかう」取組と、「普及啓発」の促進、そして、CO<sub>2</sub>を「ためる」取組が、効果的かつ効率的に図られた、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す
- 脱炭素社会の実現に向けて、部局横断的な連携により全庁が丸となって協働し、従来の脱炭素施策に加えて、今後進展するであろう水素の利活用を視野に入れ、リーディングプロジェクトを積極果敢に推進

#### 1. 温室効果ガスの排出削減

##### I エネルギーを「つくる」

R7 予算案 200百万円 (R6 予算 201百万円)

エネルギー確保に向け、地域資源(小水力など)を活用した地産地消による再エネ導入を推進

【リーディングプロジェクト】

- ① 新小水力発電による電力の地産地消とレジリエンス強化のためのモデル地域の創出検討
- ② 新水素需要が見込まれる交通結節点エリアでの水素製造拠点等の整備検討
- ③ 第二浄化センターにおける脱炭素化技術(消化ガス発電等)の導入可能性検討

【主な事業】

- ④ 地域の再エネ等由来水素を製造、貯蔵、運搬、利用する水素製造設備の導入支援
- ⑤ 家庭・事業所への創エネ設備の導入支援



水素ステーション大安寺

##### II エネルギーを「ためる」

R7 予算案 15百万円 (R6 予算 75百万円)

再エネの導入拡大に伴って生じる余剰電力の有効活用と、地域の避難所や家庭等におけるレジリエンス強化を図るため、蓄電池や水素等の活用を推進

【主な事業】

- ① 新災害活動用公用車へのプラグインハイブリッド車導入
- ② 公的部門における次世代自動車(EV・PHEV等)の率先導入
- ③ 公民館等避難所への非常用電力自給設備(V2L等)の導入支援
- ④ 家庭・事業所への蓄エネ設備の導入支援



プラグインハイブリッド車



V2L(電気自動車用可搬型給電器)

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現②

##### Ⅲ エネルギーを「かしこくつかう」

R7予算案 2,718百万円 R6・2月補正予算案 368百万円  
(R6予算 1,420百万円)

家庭・業務分野における省エネ・節電等の推進、次世代自動車の普及促進、産業分野における省エネ・再エネ等活用の促進

###### 【リーディングプロジェクト】

①工業団地の脱炭素化や製造業の省エネ・再エネ等利活用に向けた取組を実施

###### 【主な事業】

- ②県有施設における照明のLED化、施設のZEB化
- ③県有施設に設置している電気自動車用急速充電器の更新
- ④EVバス車両・EVバス用充電器の整備支援
- ⑤家庭・事業所への省エネ設備の導入支援



EVバス

##### Ⅳ 普及啓発

R7予算案 131百万円 (R6予算 98百万円)

県民の行動変容を促す取組の推進、環境問題について自ら考え行動に移す人材の育成、観光分野でのゼロカーボンの取組やサステナブルな観光地づくりの推進

###### 【リーディングプロジェクト】

①(新)観光地の脱炭素化を目指す市町村と連携し、脱炭素化推進に向けた調査や実証事業等を実施

###### 【主な事業】

- ②(新)購買行動の脱炭素化、環境教育・食品ロス対策、脱炭素活動を促すアプリの提供
- ③県民・事業者・市町村等を対象とした各種啓発イベント・セミナーの開催、(新)気候変動適応センターの運営



環境にやさしいエネルギー学習イベント

#### 2. 二酸化炭素吸収源の整備

##### V CO2を「ためる」

R7予算案 987百万円 (R6予算 994百万円)

二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な整備・保全に取り組むことにより、地域産業の活性化を図り、持続可能な地域づくりを促進

###### 【主な事業】

- ①施業放置林の解消・未利用材の搬出促進
- ②公共建築物、公共工事、民間等における県産材の利用促進
- ③(新)県内で組成されたJ-クレジットを「奈良県カーボクレジット」として登録し販売促進、創出支援アドバイザーの派遣



県産材を利用した福祉施設

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現③

R7予算案 8百万円  
(R6予算 - )

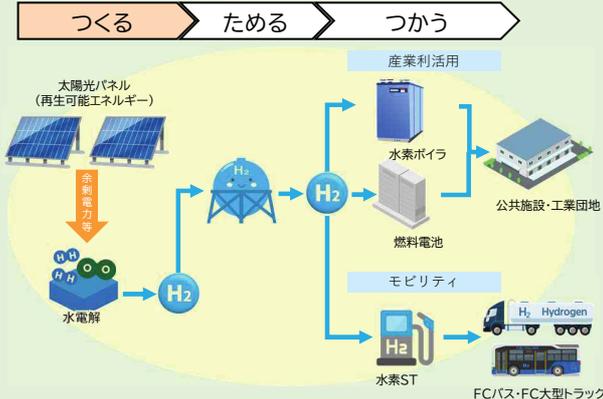
##### (新) リーディングプロジェクト推進事業

##### 1. 水素製造拠点整備プロジェクト

広域幹線道路等の交通結節点エリアにおいて、まとまりのある水素需要が見込まれる地域をターゲットに、水素製造拠点、商用水素ステーションの整備を計画・推進

(新) 水素需要が見込まれる交通結節点エリアでの水素製造拠点等の整備検討

###### < 水素製造・貯蔵・利活用のイメージ >



##### 2. 小水力活用プロジェクト

小水力発電のポテンシャルがありながら送電網の接続制約等から活用できていなかった県南部東部地域において、水素製造・貯蔵等を視野に、小水力を活用した電力の地産地消と非常用電源の確保を可能とするモデル地域の創出を検討・推進

(新) 小水力発電による電力の地産地消とレジリエンス強化のためのモデル地域の創出検討

##### 3. 環境行動変容の促進

家庭・業務部門における二酸化炭素排出は、個人の消費志向や行動意識に大きく依存しており、県民の行動意識を変えることが重要であることから、食品ロス対策、過剰包装対策やエコポイント制度など行動変容を促す取組を推進

(新) 購買行動の脱炭素化、環境教育・食品ロス対策、脱炭素活動を促すアプリの提供など

P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 脱炭素社会の実現④

R7 予算案 10 百万円  
(R6 予算 - )

#### 1. 新 食品ロス削減推進計画策定事業 R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 - )

食品ロスの現状調査及び次期食品ロス削減推進計画の策定

- 食品ロス削減推進計画策定に向けた現状調査
- 第2期食品ロス削減推進計画(⑧~⑫)の策定

#### 2. 新 食品ロス削減マッチング推進事業 R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 - )

- ウェブサイト(奈良コレ)上で、未利用農産物や加工品等を提供できる事業者(農産物直売所や企業等)と提供を希望する団体(こども食堂等)をマッチングし、まだ食べることができる未利用農産物等の活用を促進し、食品ロスを削減するシステムを構築
- これまで県を介して直売所と団体の調整を行ってきたが、ウェブ上でマッチングすることにより、実施時期や提供する農産物等の量、種類などがリアルタイムで調整でき、さらなる食品ロスの削減を推進



「奈良コレ」  
県産食材や特産品、県産食材を食べられる飲食店情報の検索ができるサイト。新たに、クローズページでマッチングできるシステムを追加



直売所でこども食堂のスタッフが野菜などの農産物を受け取る様子



(活用例) 受け取った農産物は、こども食堂で食事や弁当として提供される



P.32 脱炭素社会の実現

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025①

R7 予算案 2,705 百万円 R6・2月補正予算案 45 百万円  
R8~19 債務負担行為 5,139 百万円 (R6 予算 2,470 百万円)

#### 1 人材確保の抜本的強化

R7 予算案 26 百万円 (R6 予算 16 百万円)

- ①(新)大都市圏での情報発信・相談拠点の設置、移住就労セミナー、プロモーションの充実強化
- ②中高生に、県内企業の魅力を知ってもらうバスツアーを実施



(バスツアーの様子)

#### 3 生産性向上と新規事業への強力な支援

R7 予算案 1,131 百万円 R8~19 債務負担行為 3,100 百万円 (R6 予算 1,065 百万円)

- ①次世代の高度な技術を活用したサービスの社会実装、地域課題の解決を目指して取組を実施
  - ・ドローンを活用した物流実証実験
  - ・(新)新たな先進技術の社会実装化への支援
- ②企業や宿泊施設の誘致のため、引き続き東京・大阪でのセミナーを開催し、知事自ら奈良のポテンシャルや取組等についてアピール
- ③工場、研究所等の新たな立地を行う企業に対し補助

(ドローンの実証実験)



#### 2 用地確保と先進的なグリーン化

R7 予算案 775 百万円 R8~10 債務負担行為 2,039 百万円 (R6 予算 1,054 百万円)

- ①京奈和自動車道御所 I C 周辺に工業団地を整備
- ②文化財発掘調査の効率性・予見可能性の向上
- ③県内工業団地の脱炭素化や製造業の省エネ・再エネ等利活用に向けた取組を実施
- ④(新)奈良県 SDGs 企業認証制度を開始 (R7.10 スタート)

#### 4 行政対応の不満・ボトルネック解消

R7 予算案 5 百万円 (R6 予算 10 百万円)

- ①「CRM(顧客情報マネジメント)」システムの活用
- ②県と企業をつなぐ「専任担当者」の訪問企業数を拡充(60社→120社)
- ③新たに企業訪問(御用聞き)を100社程度拡充して実施
- ④(新)県の産業政策の情報を集約した「(仮称)まいど!奈良県企業支援がいど!」の作成

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025②

##### 5 新たな成長のフロンティア(海外展開)

R7 予算案 27百万円 (R6 予算 28百万円)

- ① 奈良県海外展開サポートデスクによる支援
- ② 電子商取引を活用した海外展開に取り組む企業を支援
- ③ 権利保護・模造品対策のため、企業の外国出願を支援

##### 7 企業価値を次世代につなぐ事業承継

R7 予算案 3百万円 (R6 予算 5百万円)

- ・事業継承が難しい県内事業者に対し、第3者承継(M & A)を通じた円滑な事業承継を行うために必要な経費を補助

##### 6 重点的な外国人材の呼び込み

R7 予算案 39百万円 (R6 予算 40百万円)

- ①(新) 外国人支援センターを日曜日も開所 (R7.4スタート)
- ②(新) 在住外国人コミュニティ活動支援補助金の対象を企業にも拡大
- ③ ベトナムの大学生をインターンとして県内企業で受入
- ④ 外国人留学生の県内企業への就労を支援



(留学生の交流会の様子)



(ベトナム人大学生のインターンの様子)

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 産業政策のパッケージ2025③

##### 取組① 中小企業の生産性向上と賃上げに向けた支援

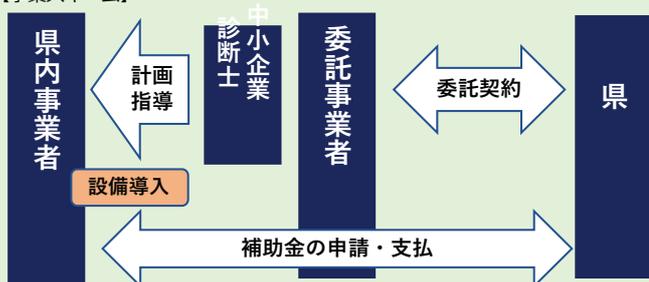
###### (新) 奈良県省力化・生産性向上設備投資支援補助金

R7 予算案 436百万円 (R6 予算 -)

- ・中小企業等の人手不足への対応と賃上げを図るため、専門家の支援を得て行う省力化・生産性向上に資する設備投資に対して補助

- 補助内容：省力化・生産性向上に資する設備導入にかかる製品本体費、導入経費(運搬費等)
- 補助率：1/2
- 補助額：(上限)5,000千円 (下限)1,000千円
- 補助要件：
  - ・設備導入前に中小企業診断士による支援を受けること
  - ・賃上げを実施すること

【事業スキーム】



##### 取組② 定年後のキャリアチェンジの推進

R7 予算案 263百万円 (R6 予算 252百万円)

R6・2月補正予算案 45百万円

- ・定年後も社会で引き続き活躍し続けることを望む高齢者の多様なニーズを実現するための相談窓口を設置し、就業者数の維持につなげることで、県経済の発展を図る

《主な事業》

- 県内企業人材確保支援事業
  - ・(新) 働きたい、起業したいなど高齢者の様々なニーズに合った支援施策を紹介するワンストップ窓口を設置
- (新) シニア起業支援事業
  - ・起業に向けた行動プランの立案を支援する講座を開催
  - ・起業に要する経費に対し支援金を支給
- 県内就労あっせん事業
  - ・プロフェッショナル人材戦略拠点が高度専門人材等を県内企業に紹介

【ワンストップ窓口のイメージ】



P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 奈良スタートアップ・プログラム

R 7 予算案 39百万円 (R 6 予算 57百万円)

##### 取組の方向性

- 奈良発のスタートアップのロールモデルを産み出す
- 産学官とスタートアップの連携を促進する
- 未来の起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育/起業家教育

「学」  
(大学・高専等)

①大学発スタートアップの創出・成長促進  
R 7 予算案 19百万円 (R 6 予算 33百万円)

県内大学等に対し、研究成果の事業化に向けた研究・試作品作成等を支援

スタート  
アップ

④奈良発スタートアップの成長促進  
R 7 予算案 9百万円 (R 6 予算 4百万円)

⑤起業人材の育成 R 7 予算案 1百万円 (R 6 予算 5百万円)

②「学」(研究)と企業の事業共創  
R 7 予算案 5百万円 (R 6 予算 -)

③オープンイノベーションの創出  
R 7 予算案 5百万円 (R 6 予算 15百万円)

⑥機運醸成・マッチング機会の提供により、スタートアップからの公共調達を促進  
県内企業等と連携した伴走支援等

「産・官」  
(県内企業・行政)

若者・大学生  
(起業予備軍)



(奈良スタートアップの集い2023)

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 大和平野中央の県有地の活用

R 7 予算案 2,891百万円 R 8~9 債務負担行為 149百万円  
(R 6 予算 1,242百万円)

##### 磯城郡3町における県有地を活用したまちづくりを推進

R 7 予算案 2,891百万円 (R 6 予算 1,242百万円)  
R 8~9 債務負担行為 149百万円

<川西町・三宅町>

- ① 事業用地にかかる調査及び計画策定
- ② 事業用地の取得及び管理

<田原本町>

- ③ 新運転免許センター整備にかかる造成設計等
- ④ 仮称新第二庁舎整備調査検討業務

##### 次世代を担う学生 x 企業のまち MIYAKE (石見地区)

- ・若者が、生活しながら成長できるヤング・イノベーション・レジデンス(居住、企業や地域との学び・交流、イノベーションの3つの機能)
- ・まちのコンセプトに賛同する、研究や新産業にチャレンジする企業誘致



イメージ

##### 子どもを中心に多様な交流が生まれるまち KAWANISHI (下永地区)

- ・地域の活性化につながり、子どもたちも楽しめる企業を誘致
- ・地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点を誘致(バレーボールアカデミーの誘致)



イメージ

##### 交通安全・安心のまち 田原本 (阪手北・西井上地区)

- 新しい運転免許センター
- ・県民の交通安全拠点(高齢者講習実技指導コースの新設)
- ・子ども連れから高齢者まですべての利用者に利用しやすい施設
- 仮称新第二庁舎の整備に向けた検討(白バイやパトカー隊などの移転)



イメージ

P.33 工業・商業の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策①

R 7 予算案 865百万円 R 8~12債務負担行為 578百万円  
(R 6 予算 716百万円)

##### 1. 観光消費額を多くする取組

R 7 予算案 419百万円 (R 6 予算 370百万円)

- ①奈良県観光戦略本部を中心に、民間の知見やアイデアを取り入れながら、県の観光を戦略的に推進
- ②旅行者の消費拡大、来訪促進等を図るため、観光分野のDXを推進
- ③万博を契機としたインバウンドへの宿泊誘客を強化
- ④(新)パリ・ユネスコ本部での「飛鳥・藤原の宮都」の魅力のPR及びインバウンド誘客促進
- ⑤交通事業者とタイアップした誘客強化
- ⑥多くの集客・観光消費が見込まれるMICE誘致を推進
- ⑦県内重点エリアを対象とした実践的かつ効果的な観光地域づくりを推進
- ⑧(新)市町村等と連携し、観光地の脱炭素化を推進
- ⑨(新)奈良公園周辺でのナイトタイムエコノミーの推進



鉄道沿線広告を活用した情報発信



商談会での情報発信

##### 2. 奈良を深く知り、満足度を高める取組

R 7 予算案 387百万円 R8~12債務負担行為578百万円  
(R 6 予算 346百万円)

- ①宿泊施設の立地等に対し補助
- ②(新)データを活用した誘致営業ツールの作成
- ③宿泊施設誘致コーディネーターの配置
- ④宿泊施設事業者を支援するためアドバイザーを派遣
- ⑤奈良県地域通訳案内士を新規育成
- ⑥奈良の観光シンボルであり、国の天然記念物でもある「奈良のシカ」の保護育成

##### 3. 奈良公園周辺から県内周遊を推進する取組

R 7 予算案 50百万円 (R 6 予算 -)

- (新) NHK大河ドラマを契機とした県内周遊促進及び機運醸成

##### 4. 観光行政の推進

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)

- (新) 民間企業等と締結した連携協定に基づき、観光振興に資する取組を推進

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策②

日本へのクリエイティブな旅展2025現地プロモーション事業 R 7 予算案 17百万円 (R 6 予算 -)

パリ・ユネスコ本部で開催される「日本へのクリエイティブな旅展2025」に出展し、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」を核とした本県の価値と魅力を発信。

併せてメディア・旅行会社向けにPRイベントを実施。万博開催直後の絶好の機会に本県の認知度向上・誘客を行い周遊・滞在型観光の促進を図る。

##### 事業内容

###### ①ユネスコ本部での「日本のクリエイティブな旅展」出展

国連職員、海外公館職員に向けてパネル展示・現品・映像・音声により地域の魅力をPR

期間 令和7年4月23日~4月28日

会場 パリ・ユネスコ本部

主催 日本へのクリエイティブな旅展実行委員会(会長:ユネスコ第8代事務局長)

共催 ユネスコ日本政府代表部



ユネスコ本部での展示イメージ

###### ②メディア・旅行エージェント向けパリ市街地イベント

現地メディア・旅行会社・一般市民に向けたイベントを通じて奈良の歴史・文化などの魅力を発信

集客しやすいパリ市街地でイベントを実施し、幅広い層に奈良の魅力をPR。メディアやインフルエンサー等を招致し、今後の情報発信を促進。



現地プロモーションイメージ

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策③

##### 奈良公園ナイトタイムエコノミー推進事業

R7予算案 15百万円 (R6予算 — )

奈良県観光戦略本部が掲げる“観光消費額増加及び宿泊者数増加”を目的として、奈良公園の歴史的・文化的特性及び市街地に近い地理的特性を活かした**体験と地域経済がリンクする仕組みを構築**し、ナイトタイムにおける新たな価値を創出する。

##### <現状>

世界遺産「古都奈良の文化財」における奈良公園周辺には、多数の国内外の観光客が来訪し、集中。

##### <今後>

奈良公園及び周辺地域の魅力を活用し、滞在時間の延長や夜間の周辺地域への**経済的な波及効果**を高めたい。



【他県の参考事例】



【ナイトミュージアムKANMSAI キービジュアル】  
京セラ美術館、京都文化博物館、滋賀県立美術館

##### <スキーム>

地域の様々な関係者が得意分野を発揮、連携して消費の拡大を目指す

- ☞ **周辺の博物館等** …夜間や早朝の“学び”、“体験”の場、特別企画等のコンテンツ提供
- ☞ **地域の飲食施設** …その土地ならではの飲食の提供
- ☞ **宿泊施設** …コンテンツや食の情報提供

##### <今後の事業展開>

##### 1 博物館・美術館の夜間開館拡大とナイトコンテンツ造成

(イメージ)

- ・開館延長にあわせたコンサート
- ・バックヤード公開や展示内容とコラボした夜間の特別企画

##### 2 ナイトコンテンツ実施時の周辺地域への誘客促進

(イメージ)

- ・飲食店での展示とコラボした食材や料理の提供
- ・地域を巻き込み、連携したコンテンツによる集客

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策④

##### 奈良の鹿保護育成事業

R7予算案 92百万円 (R6予算 70百万円)

奈良市、春日大社と協力し、奈良の鹿愛護会と連携しながら、天然記念物「奈良のシカ」の保護育成・管理の取組を推進する。

##### (一財)奈良の鹿愛護会の活動に対する支援

「奈良のシカ」の保護育成に重要な役割を担っている**奈良の鹿愛護会への支援を充実**させ、**奈良のシカの保護の強化**を図る。

##### 充実させる取組

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 鹿苑における収容シカの環境改善            | より栄養価の高い飼料の給餌、寒暑風雪等の天候対策のため仮設テントの増設、清掃業務等の作業効率向上に資する機器の確保。                           |
| 傷病シカ、妊娠シカの保護               | ・ 負傷したシカや妊娠シカ等を円滑に保護し、処置するための職員の拡充。  |
| 奈良のシカと人の共生施策の実施            | ・ 鹿苑の役割である、角切り、鹿寄せ等の伝統行事の保存継承、人身事故防止や公衆衛生の確保に係る職員の拡充。                                |
| 奈良のシカの保護育成のための調査研究及び普及啓発活動 | ・ 剖検等各種検査、生態調査に関する調査研究機器の確保<br>・ 県、奈良市、春日大社、関係団体と連携した「奈良のシカ」と人が共存する地域づくりのための啓発活動の充実。 |



##### 農業被害対策の実施

地域社会との軋轢を軽減し「奈良のシカ」と人との共生を進めるため、農業被害程度が高い地区において防鹿柵を設置するとともに、第二種特定鳥獣管理計画に基づく管理を行い、農業被害の防止を図る。



P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策⑤

##### 2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業

R 7 予算案 50百万円 (R 6 予算 — )

###### NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」概要

タイトル：「豊臣兄弟！」  
放送開始：令和8年1月

強い絆で天下統一という偉業を成し遂げた  
豊臣兄弟の奇跡——  
夢と希望の下剋上サクセスストーリー。

主人公：豊臣秀長（豊臣秀吉の弟）  
想定される舞台：奈良県大和郡山市、  
愛知県名古屋、滋賀県長浜市

###### 奈良県と大河ドラマ

- ・奈良県が舞台となる大河ドラマは、1971年「春の坂道」以来55年ぶり。
- ・2025大阪関西万博が終わり、奈良県にとって次なる誘客につながる大きなチャンス。



2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業を展開

#### 〈令和7年度の取組〉

大河ドラマを契機として、ドラマの舞台となる大和郡山市だけでなく  
**県全体への誘客促進**を実施。

- ①秀長関連情報やゆかり地域だけでなく、県全体の魅力発信も含めた複合的な誘客プロモーションの実施  
(観光パンフレットの作成、特設HP及びメディア等を活用した発信など)
- ②関連府県と連携した周遊企画や相互の誘客を促進する連携プロモーションの実施
- ③秀長関連の講演会や各種イベントの開催など



P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 戦略的な観光振興施策⑥

##### 協定に基づいた民間企業等との連携推進事業

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 — )



###### 「大阪・奈良楽遊パス」の更なる利用促進



趣旨 ○令和6年度、**2025年大阪・関西万博**を契機とし、令和6年5月に連携協定を締結した**大阪観光局との連携**に基づき、都市型観光資源の多い**大阪**と歴史文化的な観光資源が豊富な**奈良**を結ぶ「**大阪・奈良楽遊パス**」を造成（令和7年2月14日から一部先行販売開始）。  
**シームレスな決済環境の実現、県内への誘客・周遊の促進**を図る。

→令和7年度予算では、外国人観光客の認知拡大を図るため、海外OTAサイト等へのプロモーションや大阪・奈良楽遊パスHPの更なる**充実**を図る。

パス概要 利用者が事前に**WEB上でパスを購入**し、パスへ参画した観光施設及び交通機関に**QRコードを提示**することで、窓口で料金を払わなくても入場可能となる**デジタル周遊パス**。

①「大阪・奈良楽遊パス（北部）」と②「大阪・奈良楽遊パス（南部）」の2種類を造成。

①「大阪・奈良楽遊パス（北部）」は、大阪市内から近鉄奈良までの**鉄道**と、その沿線の観光スポットをセットにしたもの

②「大阪・奈良楽遊パス（南部）」は、関西国際空港から奈良県内への**レンタカー**と、大阪・奈良の中南部の観光スポットをセットにしたもの

#### 【利用イメージ】



パス購入



QRコード提示  
(交通機関)



QRコード提示  
(観光施設)



北部バス（2日券）4,800円



南部バス（2日券）3,500円

施設券2/14～販売開始

P.34 観光の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 奈良の食と農の魅力づくり①

R7予算案 342百万円 R8~15債務負担行為 34,685百万円  
(R6予算 586百万円)

##### 中央卸売市場再整備推進事業

食の流通拠点としての機能を備え、奈良県民の食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、市場の機能や立地を活かし、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」について、親和性のある一体的な整備を行う。

R7予算案 342百万円 (R6予算 586百万円)

[市場エリアの整備事業者募集・選定、市場北側用地の買収、市場北側用地の造成に向けた実施設計 他]

##### 市場エリア (市場機能の高機能化・効率化)

【開業目標年度：令和13年度(工事完了は令和15年度)】

- ・食の流通拠点機能を充実させ、持続可能な市場を目指す。
- ・両エリアの一体的な整備を念頭に置きながら、先行して整備

中央卸売市場再整備推進事業 (市場エリア整備事業)

R8~15債務負担行為 34,685百万円

事業期間：令和8年度~令和15年度

整備手法：民間の技術等を活用できるPFI手法 (BT方式)

※BT方式…PFI事業者が施設を建設し、  
建設後に施設の所有権を県に移転する方式

【再整備後のイメージ】



【市場エリア整備のスケジュール】



##### 賑わいエリア (「食」を通じた地域の賑わい拠点創出)

- ・「食」と親和性の高い一般消費者向けの賑わいを創出
- ・市場機能の強化、活性化に資する施設の整備についても検討
- ・市場エリアの整備中に整備手法を検討し、整備事業者を募集

P.35 食と農の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 奈良の食と農の魅力づくり②

R8~11債務負担行為 4百万円  
(R6予算 - )

##### 新 NAFICフードクリエイティブ学科県内開業・就業支援

県内で開業・就業する学生を増やすとともに、NAFICフードクリエイティブ学科の入学希望者増加に繋げるため、県内において飲食店の開業、または県内の飲食店等に就業する者に対して授業料の半額相当を還付する制度を設ける。

【要件】

学業優秀かつ、

- ①卒業後半年以内に県内飲食店等に就業し、3年以上就業を継続した者もしくは、
- ②卒業後3年以内に県内で飲食店を開業した者

○上記要件を満たしたうえで、卒業生からの還付申請をもとに授業料の半額相当を還付する。(授業料：年額535,800円)

##### 〈これまでに開業したNAFIC卒業生〉



←曾爾高原を一望する高台にオーベルジュを開業。フランス料理をベースに曾爾の食材を使った「里山フレンチ」を提供。



←素材にこだわったランチやスイーツを提供する洋風おしゃれカフェを明日香村に開業

P.35 食と農の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進①

R7 予算案 537百万円 R6・2月補正予算案 20百万円  
R8 債務負担行為 20百万円 (R6予算 394百万円)

##### 1. 観光客等にとって魅力ある「飛鳥・藤原」の説明力強化

R7 予算案 384百万円 (R6 予算311百万円)  
債務負担行為 20百万円

- ① 「飛鳥・藤原の宮都」の令和8年夏の世界遺産登録を目指し登録推進事業の推進
- ② ① 情報発信施設及びコンテンツの充実
  - ・万葉文化館内に世界遺産の総合的解説を行うガイダンスエリアの創設
  - ・統一的な説明板の企画・制作
  - ・「飛鳥・藤原」映像コンテンツをスマートフォン等から閲覧できるようにシステムを構築 (ほか)

- ③ 「飛鳥・藤原」来訪者への魅力あるイベント・展示の開催
  - ・① 飛鳥を中心とした奥深い古代文化の写真展を開催 (万葉文化館)
  - ・② インバウンド層や若年層をターゲットとした普及啓発イベント及び映像制作・活用
  - ・「飛鳥・藤原」関連出土品の展示 (橿原考古学研究所附属博物館)



万葉文化館



飛鳥・藤原をテーマとした写真集  
(撮影：石川直樹)

- ④ 史跡飛鳥宮跡及び史跡・名勝飛鳥京跡苑池の保存と整備の推進
  - ・飛鳥宮跡及び飛鳥京跡苑池の公有化、発掘調査、暫定整備
  - ・飛鳥宮跡の保存整備に向けた現地測量、飛鳥京跡苑池の南池を復元する整備手法の検討 (ほか)



発掘調査現場の公開

P.37 文化の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進②

##### 2. 快適な「飛鳥・藤原」周遊環境の整備

R7 予算案 114百万円 R6・2月補正予算案 20百万円  
(R6 予算 71百万円)

- ⑤ 明日香村内での自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの導入支援
- ⑥ プロガイドを活用した高付加価値ツアーの造成支援や地図アプリ上の観光情報発信力の強化支援
- ⑦ ① 「飛鳥・藤原」の価値を体感できる周遊企画商品の造成
- ⑧ 古都買入地の管理・整備
- ⑨ 明日香村が実施する歴史的風土の創造的活用を図る事業を支援 (ほか)



飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池

##### 3. 「飛鳥・藤原」の更なる魅力の発信

R7 予算案 39百万円 (R6 予算 13百万円)

- ⑩ コンテンツ発信、多言語パンフレットの作成・配布
- ⑪ ① パリ・ユネスコ本部での「飛鳥・藤原の宮都」の魅力のPR及びインバウンド誘客促進
- ⑫ 魅力発見と情報発信につながる史跡周辺農村地域での農作業体験メニュー等の検討
- ⑬ 万博会場において「飛鳥・藤原」をPR (ほか)



「飛鳥・藤原」公式HP

P.37 文化の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 国スポ・全スポ奈良大会準備の推進

R 7 予算案 725百万円 R 8 債務負担行為 140百万円  
(R 6 予算 402百万円)

##### ①国スポ・全スポ大会準備委員会の運営

R 7 予算案 21百万円 (R 6 予算 11百万円)

- ・令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた、大会準備委員会の運営
- ・大会愛称やスローガン等の選定

##### ②競技力の持続的な向上、スポーツ人材の育成

R 7 予算案 202百万円 (R 6 予算 106百万円)

- ・(公財)奈良県スポーツ協会への事業補助を通じ、アスリートや指導者の活動を支援
- ・将来の活躍が期待できるジュニアアスリートを発掘、育成



未来のトップアスリート▶  
発掘育成事業

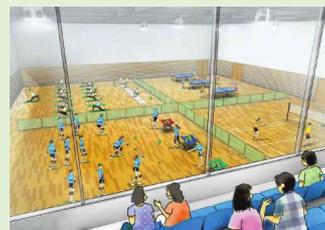
##### ③スポーツ拠点施設の整備

R 7 予算案 302百万円 (R 6 予算 285百万円)

- ・基本構想を踏まえ、橿原公苑や医大新駅西側における新アリーナ等の施設の配置、詳細な整備に関する基本計画の作成と、事業費、スケジュール等を検討
- ・医大新駅西側の文化財発掘調査等を実施



▲メインアリーナ(Bリーグ利用例)



▲サブアリーナ(利用例)

##### ④新市町村の競技施設の整備を支援

R 7 予算案 200百万円 (R 6 予算 — )

- ・市町村等が行う、大会の競技会場となる施設の整備・改修に要する経費に対し補助

P.38 スポーツの振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 南部東部地域の振興①

R 7 予算案 294百万円  
(R 6 予算 311百万円)

##### 1. 定住の促進

R 7 予算案 132百万円 (R 6 予算 151百万円)

- ①市町村が大学・研究室、民間事業者等と連携して取り組む事業に対し補助
- ②奥大和移住定住交流センター「engawa」を運営
- ③移住体験プログラムの実施
- ④移住・定住等を促進するための拠点施設整備を支援
- ⑤雇用創出を促進するための各プログラムを実施
  - ・新 デジタル人材の育成プログラム
  - ・新 奥大和地域での学生就業支援プログラム
  - ・地域産業のブランド力向上プログラム

ほか



奥大和移住定住交流センター「engawa」



「奥大和アウトドア・スポーツツーリズム」

##### 2. 交流の促進

R 7 予算案 114百万円 (R 6 予算 114百万円)

- ⑥奥大和地域の自然を活用したアウトドア・スポーツツーリズムの推進
- ⑦新「こどもが遊ぶ場」となるイベントの実施や、子育て世代が楽しめるうだ・アニマルパークの新たな魅力を創出
- ⑧トレイルランニングイベント「Kobo Trail」の開催
- ⑨2025年大阪・関西万博を契機とした奥大和地域への誘客を促進

ほか

##### 3. 力強い市町村づくり

R 7 予算案 48百万円 (R 6 予算 46百万円)

- ⑩南部・東部地域の市町村と協働し、市町村職員を確保・育成するための広報、研修等を実施
- ⑪地域支援員が、南部・東部地域の地元ニーズを把握し、南部東部振興の調整を図る

ほか

P.39 南部東部地域の振興

### Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

#### 南部東部地域の振興②

R7予算案 10百万円  
(R6予算 -)

#### 新 ツキノワグマの動向把握

##### 放獣するツキノワグマの動向の把握

R7予算案 10百万円 (R6予算 -)

- ・奈良県に生息するツキノワグマは絶滅のおそれがあるとされていることから、捕獲された場合は、人里に対し恐怖心や忌避感を学習させたくて山奥へ放獣
- ・上記の「学習放獣」を実施するツキノワグマに対しGPS計測機能付首輪を装着、放獣後の動向を把握
- ・GPS計測情報は首輪に蓄積され、携帯電話通信で適宜送信
- ・ツキノワグマが接近した場合にアラートを通知するシステムを構築



▲GPS首輪による放獣後の動向把握を実施

▲使用する首輪



▲GPS計測データを分析

P.39 南部東部地域の振興

### Ⅳ 3つの責任をしっかりと果たすために

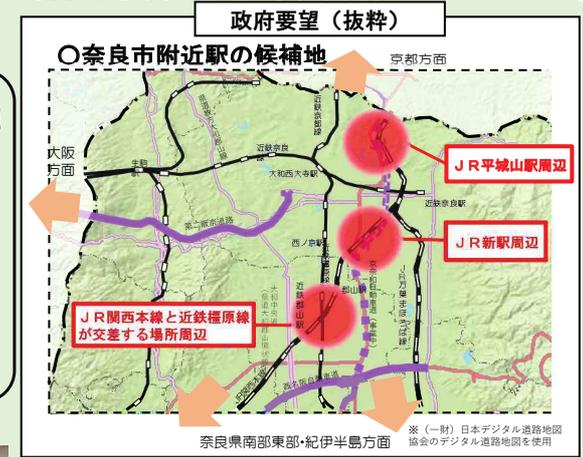
#### リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等

R7予算案 5百万円  
(R6予算 10百万円)

##### リニア中央新幹線調査検討事業

###### 令和6年度取組内容

- ・7月、11月に「奈良市附近駅」の早期確定を求める政府要望を実施
  - ・リニア中央新幹線の建設促進のため、全国期成同盟会（10都府県）三府県大会（三重県・奈良県・大阪府）、県期成同盟会を開催
  - ・JR東海、三重県、奈良県、大阪府及び国と建設促進連携会議を設置
- 令和6年10月までにJR東海が県内駅候補地3箇所周辺のボーリング調査を実施



JR東海が駅位置及びルートを確認するためのボーリング調査を実施(令和5年12月～令和6年10月)



###### 県期成同盟会の開催



###### 三府県大会の開催



###### 三府県建設促進連携会議



R7予算案 5百万円 (R6予算 10百万円)

- ・リニア中央新幹線の整備促進に関する調査・検討

P.40 県発展のための基盤整備

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

### 道路整備の加速化①

R 7 予算案 26,265百万円 R 8～9 債務負担行為 17,411百万円  
(R 6 予算 24,322百万円)

#### ①道路整備を加速化するため3つの改革を実施

##### 改革1：土地収用制度の積極的活用

一定期間経過後は速やかに土地収用手続きに着手

##### 改革2：埋蔵文化財調査の加速化

調査体制の強化や調査機材の充実、  
発注方法の見直し等の環境整備

##### 改革3：選択と集中による工事の加速化

事業実施環境が整った区間へ予算を重点化

#### ◇ R 7 から新たな取り組み

##### ・小規模道路改良提案制度(ワルズプロジェクト)を運用開始

規模が小さくても一定の要件を満たす道路改良について、土木事務所の裁量により事業着手を判断し、着手から概ね1年以内の完成を目指す

#### ②骨格幹線道路ネットワーク等の整備推進

R 7 予算案 8,460百万円 (R 6 予算 8,418百万円)

R 8～R 10 債務負担行為 15,211百万円

- ・国道168号(香芝王寺道路、王寺道路、新天辻工区等)
- ・国道169号(御所高取バイパス、高取バイパス等) 他

<国道168号香芝王寺道路>



4車線への拡幅工事を推進【令和6年度一部供用】  
(香芝市北今市～王寺町富田4丁目)

#### ③京奈和自動車道等の整備推進

R 7 予算案 14,926百万円 (R 6 予算 14,035百万円)

R 8 債務負担行為 700百万円

- ・京奈和自動車道(大和北道路、大和御所道路)
- ・(都)西九条佐保線 他

<京奈和自動車道(大和御所道路)>



(仮称) 榎原 JCT (大阪方面接続ランプ)  
【令和8年春供用】

P.40 県発展のための基盤整備

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

### 道路整備の加速化②

#### ④『ならの道 リフレッシュプロジェクト』の対象を拡大

##### 1. 対象路線の拡大

###### (自動車交通量の多い道路への拡大)

R 7 予算案 2,869百万円 (R 6 予算 1,869百万円)

R 8～9 債務負担行為 1,500百万円

##### 当初

■実施期間：5ヶ年 (R 6年～R 10)

■対象道路：大型車交通量1,000台・方向以上の県管理道路 約122km

R 7 予算案 1,869百万円 (R 6 予算 1,869百万円)

➕ より多くの道路利用者への快適な道路空間の提供

##### 拡大

■実施期間：4ヶ年 (R 7～R 10)

■対象道路：自動車交通量10,000台以上の県管理道路約198km

R 7 予算案 1,000百万円 (R 6 予算 -)

##### リフレッシュプロジェクトの主な実施内容

①舗装の耐久性向上 ・R 7内訳 1,140百万円

従来の表層・基層の修繕に加え、路面の損傷度に応じた路盤の修繕

②区画線の維持修繕(視認性の向上) ・R 7内訳 56百万円

通報やAI解析によるデータベースに基づいた計画的な区画線補修

③草刈りのメリハリ化(不快感の軽減) ・R 7内訳 476百万円

道路への雑草が生えない対策、観光地や危険箇所にも注目した草刈り等

④道路維持管理のDX(通報しやすさの向上、道路状況確認の効率化)

LINE(#9910)による通報サービスの活用、スマートフォンを利用した道路パトロール

##### 2. 山間エリアへの拡大

###### (市町村と連携した支障木伐採負担事業の創設)

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)

##### 現状

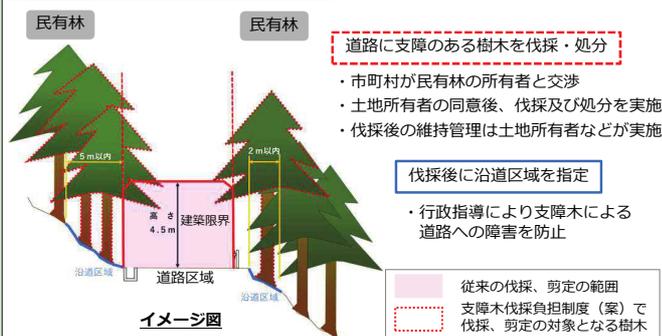
山間エリアにおける課題

⇒ 放置された民有林からの枝落ちや倒木により、  
道路利用者の安全・安心な通行が脅かされる状況

##### 市町村と連携した民有林の支障木への対策

##### 支障木伐採負担事業の創設

(県の負担は、伐採及び防草対策(1回分)費用)



- ・令和7年度に野迫川村を対象に試行的に実施
- ・令和8年度から全県的な本格展開を予定

P.40 県発展のための基盤整備

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

### 大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興

R7予算案 502百万円 (R6予算 323百万円)

#### 1. 大阪・関西万博を契機とした奈良県の魅力発信

R7予算案 297百万円  
(R6予算 317百万円)

- ①大阪・関西万博での会場催事及び県内誘客催事を実施
  - ・万博会場において、県無形文化財の祭等を披露
  - ・県内において、優れた地場産品を集めたクラフトフェア等を開催
  - ・関西パビリオンの参加負担金
- ②大阪・関西万博を契機とした誘客促進プロモーション



EXPOアリーナ (Matsuri) イメージ  
提供：2025年日本国際博覧会協会



会場催事イメージ

#### 2. オープンファクトリーの推進及び誘客・周遊促進

R7予算案 35百万円  
(R6予算 5百万円)

- ①クラフトフェアの開催に合わせ、ものづくり現場を見学、体験してもらうオープンファクトリーの取組を推進



オープンファクトリーの様子 (葛城市)

- ②大阪・奈良間や県中南部を巡るデジタル周遊バス、観光WEBサービス「ならいこ」による誘客・周遊促進

#### 3. 未来を担う子どもたちを大阪・関西万博へ招待

R7予算案 170百万円  
(R6予算 1百万円)

校外学習で大阪・関西万博を訪れる県内小・中・高等学校等に対して、入場料を助成



会場 (夢洲) イメージ  
提供：2025年日本国際博覧会協会

P.42 広域での連携

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

### 県庁の働き方・職場環境の改革

R7予算案 609百万円  
R8~12債務負担行為 420百万円  
(R6予算 310百万円)

#### 1. 健康が基本的な価値となる組織の構築

R7予算案 28百万円 (R6予算 28百万円)

- ①勤務時間適正管理システムの運用
- ②総合的なメンタルヘルス対策
  - ・ストレスチェック、窓口相談、研修等
- ③職場復帰支援



窓口相談

#### 2. 創造性を促し、生産性を高める環境の整備

R7予算案 48百万円 (R6予算 41百万円)

- ④電話対応の効率化
  - ・自動音声案内機能の導入 (順次拡大)
- ⑤文書管理システムの運用
- ⑥生成AIを活用した資料作成、庁内問合せ対応の効率化

#### 3. 多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備

R7予算案 97百万円 (R6予算 98百万円)

- ⑦多様で柔軟な働き方の推進
  - ・フレックス勤務、テレワーク
- ⑧多様な人材確保の推進
  - ・リクルート活動
  - ・SPIによる採用試験の本格化
  - ・修学資金 (総合土木、獣医師)



知事によるリクルート活動

#### 4. 組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備

R7予算案 372百万円 R8~12債務負担行為 420百万円  
(R6予算 79百万円)

- ⑨業務効率化に資するネットワーク環境への見直し、組織内に蓄積されたノウハウや知恵を効率的に活かすための情報共有ツールの運用
- ⑩民間企業との人事交流、海外大学院への派遣



イギリス ヨーク大学大学院

#### 5. 社会情勢の変化を捉え、県民の利益に資するものとなるよう、主体的に意欲的な課題設定ができる環境整備と組織運営

R7予算案 17百万円 (R6予算 17百万円)

- ⑪職員の意識や働き方改革の進捗を把握する調査、360度評価

#### 6. 県民全体への奉仕者として楽しく、失敗を恐れず果断に挑戦できる人材の育成

R7予算案 47百万円  
(R6予算 46百万円)

- ⑫職員が自発的に自己研鑽できる動画研修システムの運用



動画研修システム (ならっCiao!)

P.43 県庁の働き方・職場環境改革の推進

# 各分野で取り組む施策

## I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

- 1. 安全・安心の確保 ..... 26
- 2. 福祉の充実 ..... 27
- 3. 医療の充実 ..... 28

## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

- 4. こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進 .. 29
- 5. 教育の充実 ..... 31

## III 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

- 6. 脱炭素社会の実現 ..... 32
- 7. 工業・商業の振興 ..... 33
- 8. 観光の振興 ..... 34
- 9. 食と農の振興 ..... 35
- 10. 林業の振興 ..... 36
- 11. 文化の振興 ..... 37
- 12. スポーツの振興 ..... 38
- 13. 南部東部地域の振興 ..... 39

## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

- 14. 県発展のための基盤整備 ..... 40
- 15. まちづくりの推進 ..... 41
- 16. 広域での連携 ..... 42
- 17. 県庁の働き方・職場環境改革の推進 ..... 43
- 18. 徹底した行財政改革 ..... 44

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

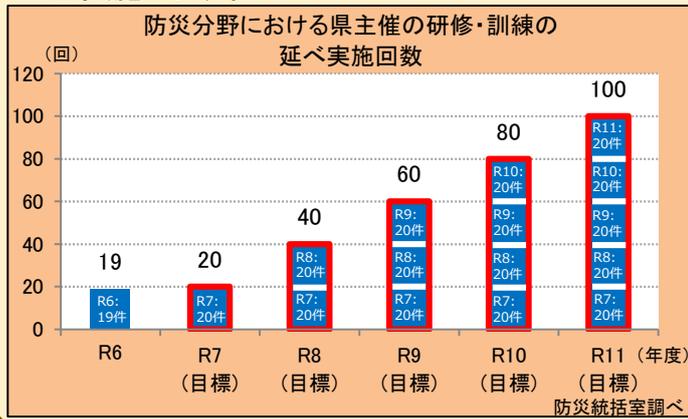
## 1. 安全・安心の確保

### 目指す姿

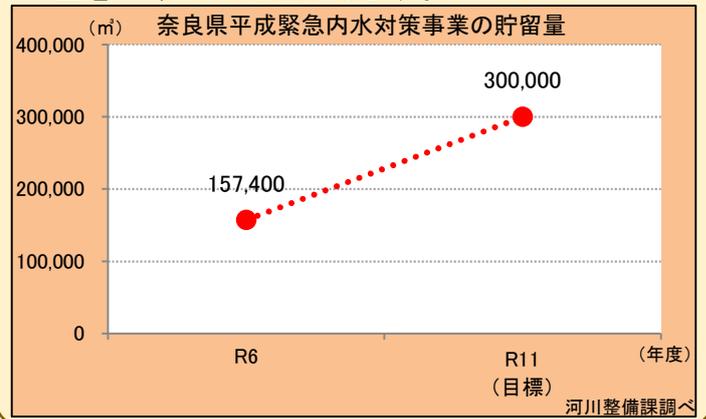
災害から県民の命を守ることを最大の目標に、総合的かつ計画的に、災害対策の整備及び推進を図り、「災害に日本一強い奈良県」を目指します。

### 目標

○令和7年度から令和11年度の5年間で防災分野における県主催の研修・訓練を延べ100回以上実施します。



○奈良県平成緊急内水対策事業において、令和11年度までに100年に1度の降雨に耐える貯留量を300,000m<sup>3</sup>以上にします。



### 主な施策

- ①災害対応力の向上  
「自助」・「共助」の推進、防災活動体制の整備・充実、防災拠点の整備など県全体の防災体制の確保 等
- ②消防力の向上  
消防学校教育の充実(教育訓練の充実、消防学校の移転検討)、県内消防組織への支援(消防団員の確保対策、設備等の支援) 等
- ③治水対策の推進  
ながす対策(河道拡幅、河床掘削等)・ためる対策(ため池治水対策、奈良県平成緊急内水対策等)・ひかえる対策(土地利用対策)の推進、災害リスク情報の発信 等
- ④土砂災害対策の推進  
土砂災害対策施設整備計画に基づく砂防関係施設の整備、国直轄による大規模土砂災害対策、土砂災害(特別)警戒区域の指定によるリスクの見える化・防災啓発の推進 等
- ⑤盛土や宅地、建築物の安全・安心の確保  
盛土の安全確保のための適切な許可と指導、建築物の耐震化の促進、建築行政のデジタル化、被災建築物応急危険度判定等の災害対応力の強化 等
- ⑥安全・安心なまちづくり  
子ども・高齢者の安全確保、特殊詐欺等の対策強化、自主防犯・防災リーダーの育成、地域課題解決に向けた民間等との連携・協働の推進、地域活動の促進、運転免許センターの移転整備 等

| 主な取組                       | 令和7年度                    | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------------------------|--------------------------|-------|-------|
| ①県全体の防災体制の確保               | 防災拠点の整備など県全体の防災体制について推進  |       |       |
|                            | 関西広域連合での検討               |       |       |
| ②消防学校教育の充実                 | 消防学校の移転整備の検討・推進          |       |       |
| ③河道拡幅、河床掘削等の推進             | 河川整備計画に基づく河道拡幅等の実施       |       |       |
| ④土砂災害対策施設整備計画に基づく砂防関係施設の整備 | 土砂災害対策施設整備計画に基づく砂防施設等の整備 |       |       |
| ⑤盛土の安全確保のための適切な許可と指導 等     | 盛土の許可等                   |       |       |
|                            | 既存盛土調査・危険盛土の是正指導等        |       |       |
| ⑥子ども・高齢者の安全確保              | 地域の主体的な防犯力・安全力の維持・向上の推進  |       |       |
| ⑥運転免許センターの移転整備             | 運転免許センター及び県警の一部機能の移転整備   |       |       |

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

## 2. 福祉の充実

### 目指す姿

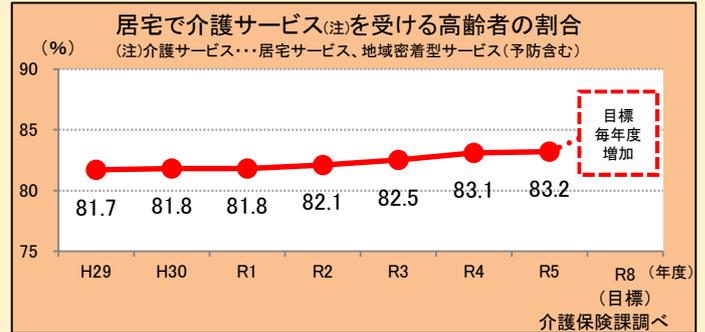
全ての県民が尊厳を保持し、地域の一員として包摂され、支え合いながら、安全で安心して健康に暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

### 目標

○令和11年度までに全ての市町村において、個別避難計画の作成に取り組むようにします。



○最期まで住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、居宅で介護サービスを受ける高齢者(65歳以上)の割合を令和8年度まで毎年度増加させます。



### 主な施策

#### ①包括的な支援体制の整備

市町村における包括的な支援体制の整備に向けた取組の支援、生活困窮者自立支援、住宅セーフティネットの構築、出所者等の更生支援、災害時の要配慮者支援 等

#### ②障害福祉の推進

奈良県障害者計画に基づく施策の展開(障害理解・社会参加の促進、就労の支援、発達障害児(者)への支援、重症心身障害児(者)とその家族への支援) 等

#### ③地域包括ケアシステムの推進

住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられる多様な介護サービスの充実と介護給付の適正化、在宅医療・介護連携の推進、介護予防の充実、認知症施策の推進、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 等

#### ④多様な福祉の担い手づくり

福祉・介護人材の確保、民生委員・児童委員の活動支援、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の養成 等

#### ⑤国民皆保険制度の維持

国保財政運営の安定化と医療費適正化の取組強化による県民負担の増加抑制 等

| 主な取組                                | 令和7年度  | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------------------|--|-------|-------|
| ①市町村における包括的な支援体制の整備に向けた取組の支援        | 市町村への体制整備に向けた現地支援や研修会、意見交換会の実施                     |       |       |
| ①災害時の要配慮者支援                         | 市町村における個別避難計画の作成に向けた取組の支援 等                        |       |       |
| ②奈良県障害者計画に基づく施策の展開                  | 障害理解の促進、一般就労・福祉的就労への支援など、新計画に基づいた各種施策の展開           |       |       |
|                                     | 発達障害児(者)への相談支援体制の強化、重症心身障害児(者)や医療的ケアが必要な人への支援等     |       |       |
| ③多様な介護サービスの充実と介護給付の適正化、在宅医療・介護連携の推進 | 地域の实情に応じた在宅・施設サービスの充実<br>ケアプラン点検の強化、市町村による多職種連携の推進 |       |       |
| ③高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進                | 老人クラブ等による高齢者の生きがいと健康づくりの取組に対する支援                   |       |       |
| ④福祉・介護人材の確保                         | 仕事の魅力発信、働きやすい職場環境づくりの推進、生産性の向上、外国人の参入促進            |       |       |
| ⑤国保財政運営の安定化と医療費適正化の取組強化             | 国民健康保険料の収納率向上に向けた収納対策の充実・強化                        |       |       |
|                                     | 特定健診及び特定保健指導の実施率向上、医薬品適正使用の推進                      |       |       |

# I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

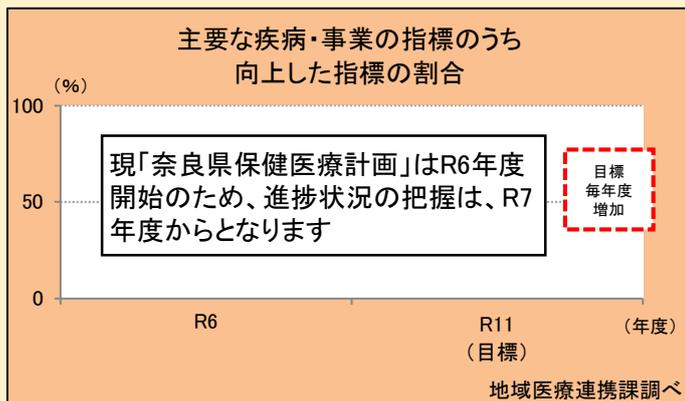
## 3. 医療の充実

### 目指す姿

最適な医療が必要なときに受けられる、持続可能な医療提供体制を構築するとともに、生涯を通して健康で自分らしく心豊かに暮らせる奈良県を目指します。

### 目標

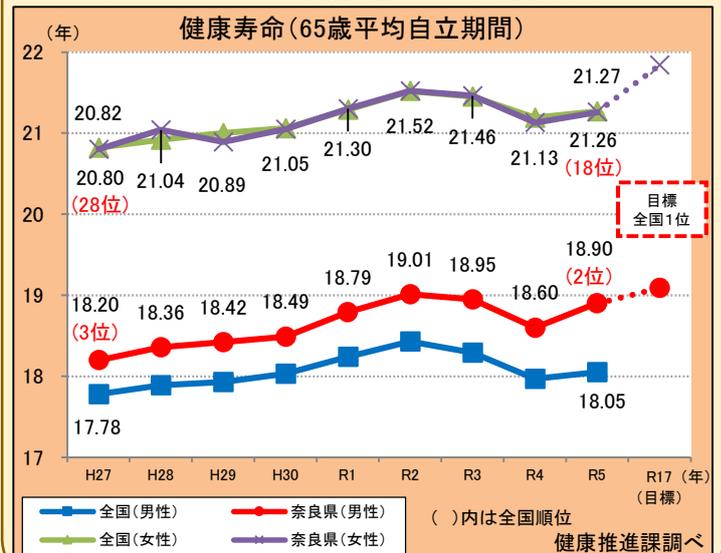
○奈良県保健医療計画に定める、主要な疾病・事業(注1)の指標のうち、向上した指標の割合を令和11年度まで毎年度増加させます。



(注1)がん、脳卒中・心臓病その他の循環器病、糖尿病、精神疾患、救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療、在宅医療、感染症

○令和17年までに県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女ともに日本一にします。

〔参考値：令和5年 男性1位 19.09年(長野県) 女性1位 21.84年(長野県)〕



### 主な施策

- ①最適な医療サービスの提供  
「断らない病院」「面倒見のいい病院」の更なる機能強化に向けた医療機能の分化・連携の推進、がん対策の推進、循環器病対策の推進 等
- ②医療の担い手確保  
医師・看護職員の確保、診療科間等での医師の偏在解消、看護の質向上 等
- ③医大・県立系病院による安定的な医療の提供  
病院機構・医大の安定的な経営基盤の確立、西和医療センターの移転整備、県立医大附属病院の新A棟(新外来棟)の整備 等
- ④健康づくりの推進  
健康的な生活習慣の普及、疾病の早期発見・重症化予防、健康になれる環境づくり 等

| 主な取組                   | 令和7年度                                 | 令和8年度            | 令和9年度            |
|------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|
| ①医療機能の分化・連携の推進         | 病院の機能再編・連携強化への支援                      | 新たな地域医療構想(注2)の策定 | 新たな地域医療構想(注2)の推進 |
| ②医師・看護職員の確保            | 修学資金の貸与、勤務環境改善の推進、キャリア形成支援等           |                  |                  |
| ③西和医療センターの移転整備         | 造成設計、建築設計、道路交差点設計<br>用地取得に向けた調査等、用地取得 |                  | 工事着工             |
| ③県立医大附属病院の新A棟(新外来棟)の整備 | 基本・実施設計                               |                  |                  |
| ④健康的な生活習慣の普及           | 食生活や運動等の健康的な生活習慣に関する普及啓発              |                  |                  |

(注2) 2040年に向けて、病床の機能分化・連携に加え、外来医療・在宅医療・介護との連携、人材確保等も含めた、あるべき医療提供体制の実現に資するよう策定する構想

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

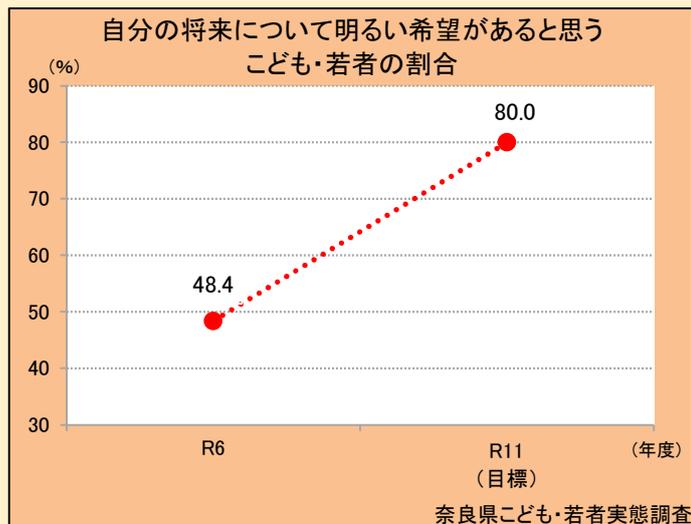
### 4. こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

#### 目指す姿

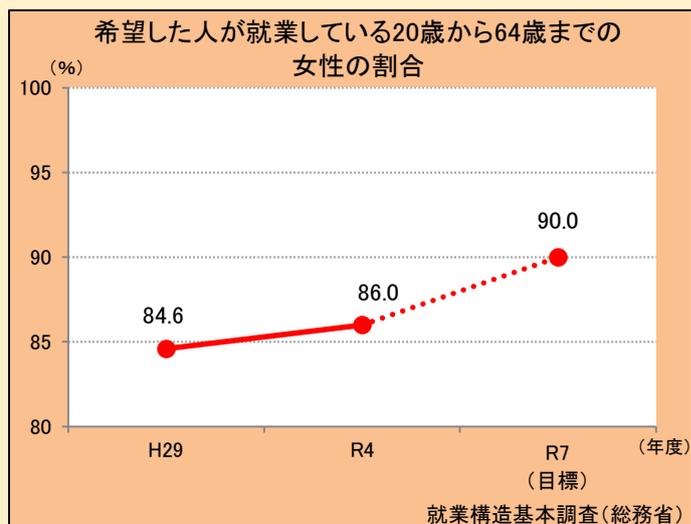
こどもをまんなかにおき、社会全体で子育てを支援するあたたかい県民性をはぐくむことを目指します。

#### 目標

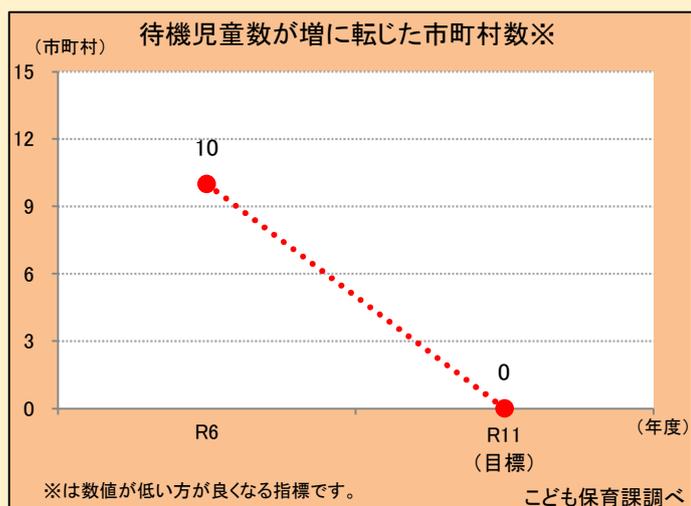
○令和11年度までに自分の将来について明るい希望があると思うこども・若者の割合を80.0%以上にします。



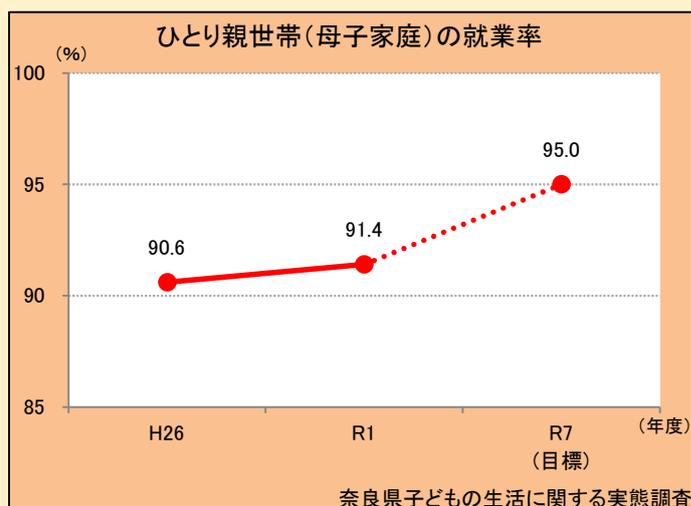
○令和7年度までに希望した人が就業している20歳から64歳までの女性の割合を90.0%以上にします。



○令和11年度までに待機児童数が増に転じた市町村数を0にします。



○令和7年度までにひとり親世帯(母子家庭)の就業率を95.0%以上にします。



## 主な施策

- ①ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革  
こども・若者のライフデザイン実現に向けた支援、ジェンダーギャップの解消に向けた取組 等
- ②若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上  
ひとり親家庭の自立促進、養育費の受領率向上に向けた取組、若者に県内企業を知ってもらう機会の創出、オンラインを活用した職業訓練の推進 等
- ③男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備  
有給インターン制度等による女性の雇用促進、フレックス制・テレワークの運用等による柔軟な働き方の推進、育児休業の取得促進に向けた取組 等
- ④個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実  
市町村こども家庭センターへの支援、こども・子育てDXの推進 等
- ⑤困難な状況に置かれているこども、子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実  
妊産婦等への支援、こども食堂(こどもの居場所)への支援、ヤングケアラーに対する支援体制の充実、不登校・いじめ等に対する支援 等
- ⑥こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備  
保育士等の処遇改善、教員の負担軽減に向けた取組、ベビーシッターを利用した子育て支援 等
- ⑦妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実  
産後ケア事業を行う市町村に対する支援、子ども医療費助成の実施、不妊治療に対する支援 等
- ⑧こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり  
公園施設の利用環境向上に向けた取組、民間活力を利用した公園サービスの充実 等

| 主な取組                          | 令和7年度                                     | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------------|---|-------|-------|
| ①こども・若者のライフデザイン実現に向けた支援       | 小・中・高校生向け、大学生・社会人向けセミナー等の開催               |       |       |
| ①ジェンダーギャップの解消に向けた取組           | トップセミナーの開催                                |       |       |
| ②ひとり親家庭の自立促進、養育費の受領率向上に向けた取組  | ひとり親家庭等の就業相談・ひとり親コンシェルジュによる支援             |       |       |
| ②オンラインを活用した職業訓練の推進            | オンラインを活用した職業訓練の実施                         |       |       |
| ③有給インターン制度等による女性の雇用促進         | 有給インターンの実施等による女性の雇用促進                     |       |       |
| ③フレックス制・テレワークの運用等による柔軟な働き方の推進 | フレックス制・テレワーク等の推進                          |       |       |
| ③育児休業の取得促進に向けた取組              | 取得予定の早期把握、柔軟な人事配置                         |       |       |
| ④市町村こども家庭センターへの支援             | 統括支援員向け研修、専門家による相談会の実施                    |       |       |
| ⑤こども食堂(こどもの居場所)への支援           | こども食堂コーディネーターによる相談等支援、補助制度による支援           |       |       |
| ⑤ヤングケアラーに対する支援体制の充実           | ヤングケアラー・コーディネーターによる支援、児童生徒の認知度向上・学校の対応力向上 |       |       |
| ⑤不登校・いじめ等に対する支援               | スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置・派遣、多様な学びの場の確保 |       |       |
| ⑥保育士等の処遇改善                    | 保育士等処遇改善制度の活用促進                           |       |       |
|                               | 保育の質と保育士の職場環境向上に向けた取組の推進                  |       |       |
| ⑥教員の負担軽減に向けた取組                | 教員業務支援員・部活動指導員・学習支援員等の配置拡充                |       |       |
| ⑦産後ケア事業を行う市町村に対する支援           | 市町村、産科医療機関等との情報共有及び市町村等向け研修の実施            |       |       |
| ⑦子ども医療費助成の実施                  | 高校生までの助成の継続実施                             |       |       |
| ⑦不妊治療に対する支援                   | 市町村への補助事業の実施、オンライン相談窓口の運営                 |       |       |
| ⑧公園施設の利用環境向上に向けた取組            | 公園施設の利用環境向上に向けた取組の推進                      |       |       |
| ⑧民間活力を利用した公園サービスの充実           | 民間活力を利用した公園サービスの充実の推進                     |       |       |

## Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

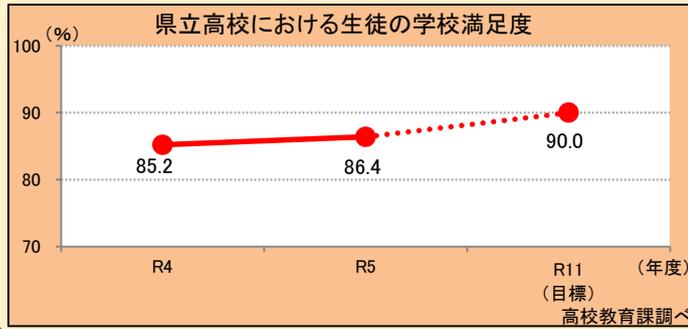
### 5. 教育の充実

#### 目指す姿

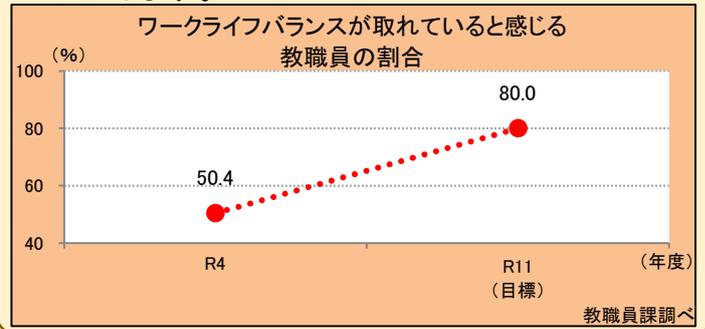
「一人一人の可能性を最大限に引き出す教育～郷土奈良に誇りを持ち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～」を目指します。

#### 目標

○令和11年度までに県立高校における生徒の学校満足度を90.0%以上にします。



○令和11年度までにワークライフバランスが取れていると感じる教職員の割合を80%以上にします。



#### 主な施策

- ①高等学校授業料等への支援  
高校授業料等の実質的な無償化 等
- ②教育現場の改善  
教員の負担軽減のため「教員業務支援員」・「部活動指導員」・「学習支援員等」の配置の拡充・「副校長・教頭マネジメント支援員」の拡充、様々な課題を抱えるこどもたちへの支援、障害者雇用の促進、正規教員の割合改善に向けた採用人数の増加 等
- ③教育内容の充実  
高校教育の特色化・魅力化 等
- ④教育環境の充実  
県立高校トイレピッカピカ5ヵ年計画の推進、県立学校の長寿命化整備・空調設備の設置、ICT教育環境推進 等
- ⑤県立大学・県立医大の教育の充実  
県立大学・県立医大の中期目標の推進・キャンパス整備 等

| 主な取組                       | 令和7年度   | 令和8年度  | 令和9年度               |
|----------------------------|---|--|---------------------|
| ①高校授業料等の実質的な無償化            | 高校授業料等への支援  |  |                     |
| ②教員の負担軽減のため「教員業務支援員」の配置の拡充 | 全市町村立小中学校に配置  |  |                     |
| ②教員の負担軽減のため「部活動指導員」の配置の拡充  | 県立高校における部活動指導員の配置拡充                                   |  |                     |
|                            | 全市町村の中学校における部活動指導員の配置拡充及び地域クラブ活動への移行支援<br>指導者人材バンクの活用 | 地域クラブ活動への移行支援  |                     |
| ②教員の負担軽減のため「学習支援員等」の配置の拡充  | 公立小中学校における学習支援員等の配置拡充                                 |  |                     |
| ②様々な課題を抱えるこどもたちへの支援        | スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの拡充、オンラインを活用した不登校支援体制の強化      |  |                     |
| ③高校教育の特色化・魅力化              | 教育活動充実に向けた支援・校務DX環境整備、子どもの課題解決に向けた取組、研修講座の充実          |  |                     |
| ④県立高校トイレピッカピカ5ヵ年計画の推進      | 工事（順次）  |  |                     |
| ④ICT教育環境推進                 | 全普通教室電子黒板導入   | BYOD端末 <sup>(注)</sup> の学校間共同調達の実施 <sup>(注)</sup> （生徒の個人端末を学校に持ち込むこと） |                     |
|                            | 第2期中期目標期間（R3～R8年度）                                    |  | 第3期中期目標期間（R9～R14年度） |
| ⑤県立大学の中期目標の推進・キャンパス整備      | （仮称）教育研究棟 新築工事  |  |                     |
| ⑤県立医大の中期目標の推進・キャンパス整備      | 第4期中期目標期間（R7～R12年度）                                   |  |                     |
|                            | 附属病院新A棟（新外来棟）基本・実施設計 等                                |  |                     |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

## 6. 脱炭素社会の実現

### 目指す姿

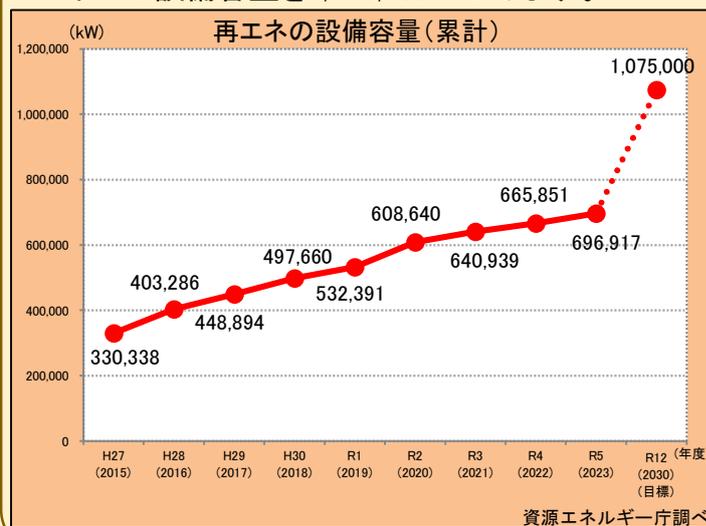
2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて、「自然エネルギー」や「森林資源」を最大限活用しながら、エネルギーを「つくる」、「ためる」、「かしこくつかう」の取組が効果的かつ効率的に図られた、持続可能な脱炭素社会の構築を目指します。また、従来の脱炭素施策に加えて、今後進展するであろう水素の利活用を視野に入れ、各分野の個別事業を体系的・計画的に推進します。

### 目標

○2030年までに温室効果ガスを2013年度比で45.9%削減し、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。



○2030年度までに奈良県内の再生可能エネルギーの設備容量を1,075,000kWにします。



### 主な施策

- ①エネルギーを「つくる」  
再生可能エネルギー(再エネ)の活用、水素製造拠点の創出、次世代エネルギーの活用 等
- ②エネルギーを「ためる」  
蓄電池・水素等の活用による再エネの利用拡大及びレジリエンス向上 等
- ③エネルギーを「かしこくつかう」  
家庭・業務分野における省エネ・節電等の推進、交通分野における脱炭素化、産業分野における省エネ促進・再エネ等の活用 等
- ④普及啓発  
行動変容促進、脱炭素型融資制度の普及促進、ゼロカーボン・ツーリズムの創出、人づくり・地域づくりの推進、脱炭素に関する技術・調査研究等の推進 等
- ⑤CO<sub>2</sub>を「ためる」  
健全な森林の整備、県産材の需要拡大、J-クレジットの普及 等

| 主な取組                             | 令和7年度                            | 令和8年度          | 令和9年度 |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------|-------|
| ①再生可能エネルギー(再エネ)の活用               | 太陽光発電設備を順次導入                     |                |       |
| ②蓄電池・水素等の活用による再エネの利用拡大及びレジリエンス向上 | 家庭や事業所への蓄電池等の導入支援を実施             |                |       |
| ③家庭・業務分野における省エネ・節電等の推進           | 家庭におけるZEH※や事業所における省エネ設備等の導入支援を実施 |                |       |
| ④行動変容促進                          | 「エコ活ポイント」制度の検討                   | 「エコ活ポイント」制度を実施 |       |
| ⑤健全な森林の整備                        | 間伐等の森林施業に対する支援                   |                |       |

※ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)・・・高効率な設備システムの導入により、外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現。その上で、再エネを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを旨とした住宅

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

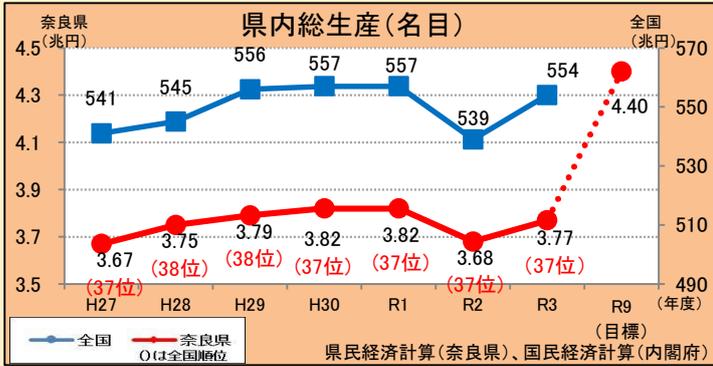
## 7. 工業・商業の振興

### 目指す姿

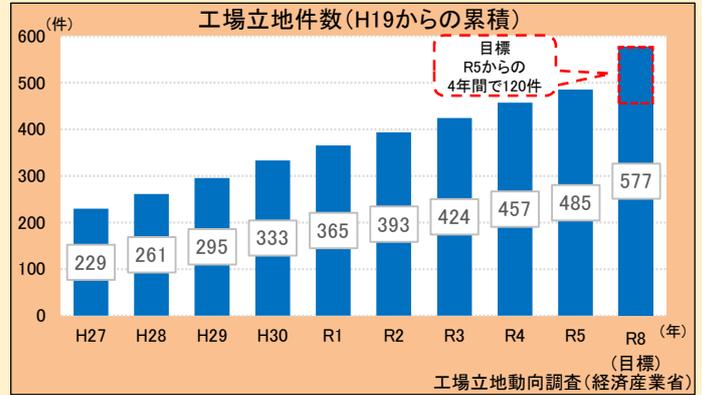
企業のリアルな「声」(ニーズ、課題)を起点とした8つの柱からなる産業政策を展開し、奈良県の潜在力に見合った経済成長の実現を目指します。

### 目標

○令和9年度の県内総生産(名目)(注)を4兆4000億円にします。



○令和5年から令和8年までの4年間で120件の工場立地件数を目標とします。



### 主な施策

- ①人材確保の抜本的強化  
「住みやすく・働きやすい」を人手確保のインフラに、学生と企業をより深く・強くつなげる 等
- ②用地確保と先進的なグリーン化  
産業用地の創出等、文化財発掘調査の効率性・予見可能性の向上、企業と連携した先進的なグリーン戦略の展開、SDGs企業認証制度の開始 等
- ③生産性向上と新規事業への強力な支援  
企業・宿泊施設誘致の推進、新規事業や企業価値向上への支援、次世代技術の活用 等
- ④行政対応の不満・ボトルネック解消  
県内企業との関係構築、「CRM(顧客情報マネジメント)」の活用 等
- ⑤新たな成長のフロンティア(海外展開)  
「初めての海外展開」を重点支援、挑戦する企業を成功体験へと伴走支援 等
- ⑥重点的な外国人材の呼び込み  
企業への外国人材の呼び込み、定着を支援、在住外国人のニーズにあった生活環境の整備 等
- ⑦企業価値を次世代につなぐ事業承継  
専門家による適切な支援の促進、優秀な後継候補者とのマッチングを支援、優良事例の横展開 等
- ⑧スタートアップへの支援  
奈良県発のスタートアップのロールモデルを生み出す、産学官とスタートアップの連携を促進 等

| 主な取組                      | 令和7年度                                  | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------------------------|--|-------|-------|
| ①「住みやすく・働きやすい」を人手確保のインフラに | 働きやすい職場づくりの推進・人材育成の推進、移住・県内就労の促進等      |       |       |
| ②産業用地の創出等                 | 大和平野中央等の県有地を活用した企業立地の促進等               |       |       |
| ②企業と連携した先進的なグリーン戦略の展開     | 工業団地の脱炭素化や、製造業等の省エネ・再エネ等利活用に向けた取組等     |       |       |
| ③企業・宿泊施設誘致の推進             | 補助制度をインセンティブにした誘致の推進等                  |       |       |
| ④県内企業との関係構築               | 専任担当者制(一部企業)による行政窓口の一元化、企業ニーズ等の施策への反映等 |       |       |
| ⑤「初めての海外展開」を重点支援          | 「奈良県海外展開サポートデスク」による相談対応、勉強会の開催等        |       |       |
| ⑥企業への外国人材の呼び込み、定着を支援      | 外国人留学生等高度人材の県内就労支援、日本語学習支援等外国人材の定着促進等  |       |       |
| ⑦専門家による適切な支援の促進           | 専門家による適切な支援を促進し、事業承継のマッチングを加速等         |       |       |
| ⑧産学官とスタートアップの連携を促進        | 大学等のアイデアの事業化支援、企業との共同研究支援等             |       |       |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

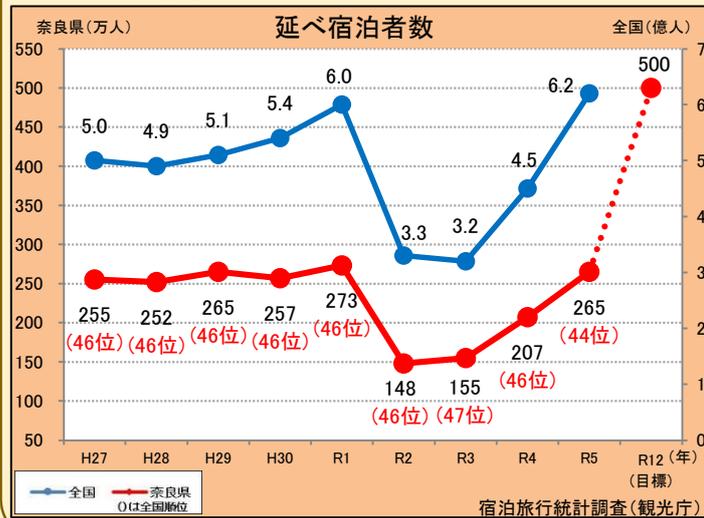
## 8. 観光の振興

### 目指す姿

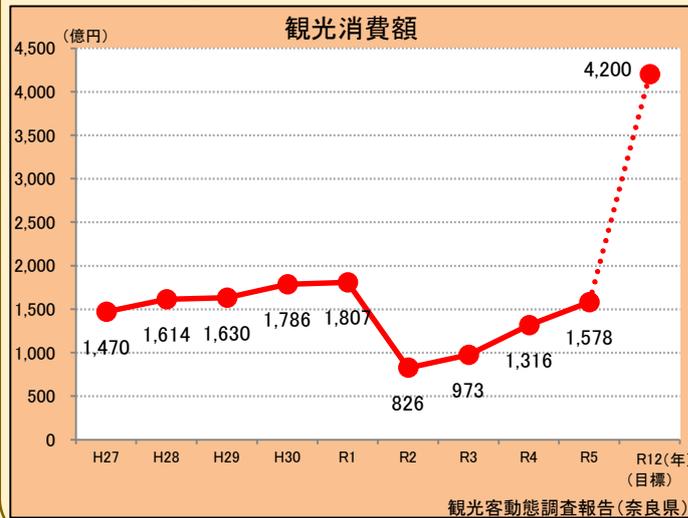
安い(観光消費額が非常に少ない)、浅い(奈良の滞在が短く、奈良を深く知らない)、狭い(観光客が奈良公園周辺に集中)の現状を脱却し、奈良県の観光GDPの飛躍的かつ持続的な拡大を目指します。

### 目標

○令和12年度までに延べ宿泊者数を500万人にします。



○令和12年度までに観光消費額を4,200億円にします。



### 主な施策

- ①観光消費額を多くする取組  
観光DXの推進、誘客のためのプロモーションの実施、MICE誘致の強化、観光地域づくりの推進、滞在時間を増やすための取組を強化 等
- ②奈良を深く知り、満足度を高める取組  
宿泊施設の質と量を向上させる取組の強化、観光人材の育成・確保、鹿の保護育成 等
- ③奈良公園周辺から県内周遊を推進する取組  
中部エリア、南部東部エリアへの誘客促進 等
- ④観光行政の推進  
統計調査分析等マーケティング、民間企業等との連携協定に基づく取組 等

| 主な取組                 | 令和7年度                        | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------------------|------------------------------|-------|-------|
| ①観光DXの推進             | 奈良県観光WEBサービスの活用促進            |       |       |
| ①誘客のためのプロモーションの実施    | 奈良の強みを活かした誘客プロモーション等の実施      |       |       |
| ①MICE誘致の強化           | 国内外の商談への参加やMICE関係者への誘致活動     |       |       |
| ①観光地域づくりの推進          | 県内重点エリアを対象とした観光地域づくりの実践      |       |       |
| ①滞在時間を増やすための取組を強化    | ナイトタイムエコノミー等滞在時間を増やすための取組の推進 |       |       |
| ②宿泊施設の質と量を向上させる取組の強化 | 宿泊施設の誘致及び魅力向上の支援             |       |       |
| ②観光人材の育成・確保          | ガイド等の育成、質の維持・向上、活用促進         |       |       |
| ②鹿の保護育成              | 鹿の保護育成                       |       |       |
| ③中部エリア、南部東部エリアへの誘客促進 | 観光地域づくりの取組を活かした誘客プロモーション等の実施 |       |       |
| ④統計調査分析等マーケティング      | ビックデータの活用も含めた、効果的な観光統計の実施    |       |       |
| ④民間企業等との連携協定に基づく取組   | 民間企業等との連携協定に基づき観光振興に資する取組を推進 |       |       |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

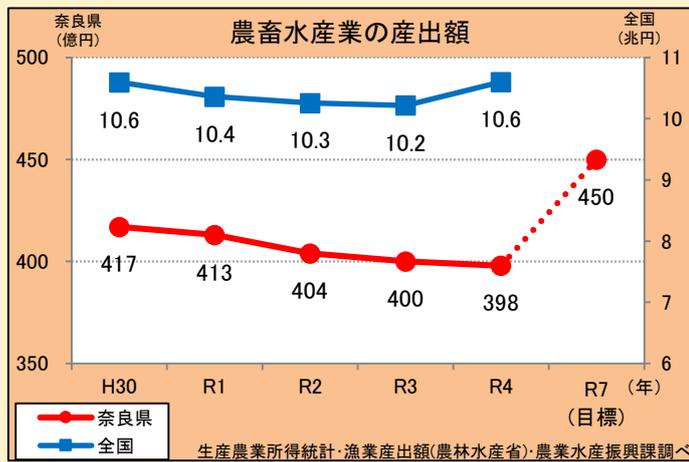
## 9. 食と農の振興

### 目指す姿

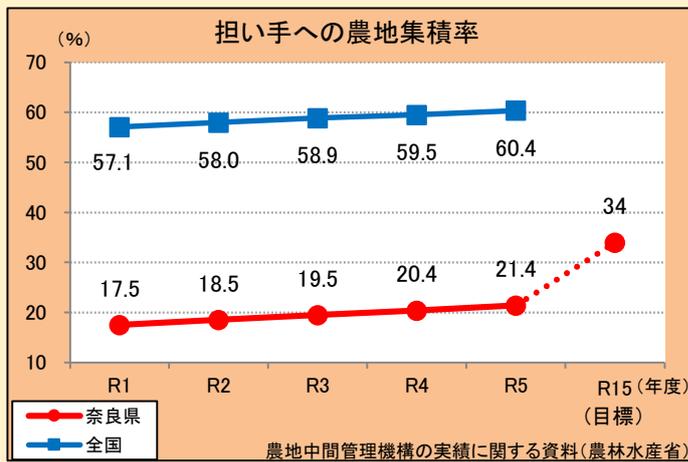
「奈良県豊かな食と農の振興に関する条例」に基づき、人が生きていく上で欠くことができない、また、観光の目的となり地域振興にも資する「食」と、その食を支える産業である「農」の一体的な振興を目指します。

### 目標

○令和7年までに農畜水産業の産出額を450億円にします。



○令和15年度までに担い手への農地集積率を34%にします。



### 主な施策

- ①奈良の食の魅力づくり  
食の魅力の向上、食の魅力を活かした誘客の促進 等
- ②食を通じた健康増進と子どもの健全育成  
農産物を活かした健康な食習慣の定着推進、子どもの健全育成に資する食事等の機会の提供 等
- ③戦略的な販売の推進  
ブランド力の強化、情報発信、中央卸売市場の再整備、戦略的販売の実施 等
- ④農畜水産物の生産振興  
販売戦略を踏まえた生産振興、生産者への支援、生産環境の整備、研究開発、生産の安定性の確保 等

| 主な取組                   | 令和7年度                                | 令和8年度   | 令和9年度 |
|------------------------|--------------------------------------|---------|-------|
| ①食の魅力の向上               | NAFICにおける食の担い手の育成等                   |         |       |
| ①食の魅力を活かした誘客の促進        | 奈良の食の魅力発信、奈良の食を楽しむ機会の拡大等             |         |       |
| ②子どもの健全育成に資する食事等の機会の提供 | 大阪・関西万博と連携した食の魅力発信                   |         |       |
| ③中央卸売市場の再整備            | 事業者公募                                | 設計・建設工事 |       |
| ③戦略的販売の実施              | ブランド力の強化・アンテナショップ等を活用した食材の情報発信等      |         |       |
|                        | 首都圏や海外等への販路拡大                        |         |       |
| ④販売戦略を踏まえた生産振興         | 主要品目の生産拡大、成長品目の育成、サステナブルな水田営農推進等     |         |       |
| ④生産者への支援               | 企業参入の促進、新規就農者の確保・育成、担い手の発展段階に合わせた支援等 |         |       |
| ④生産環境の整備               | 農業生産基盤の整備、農地マネジメントの推進等               |         |       |
| ④研究開発                  | 「第3期奈良県農業研究開発中期運営方針」に基づく研究開発等        |         |       |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

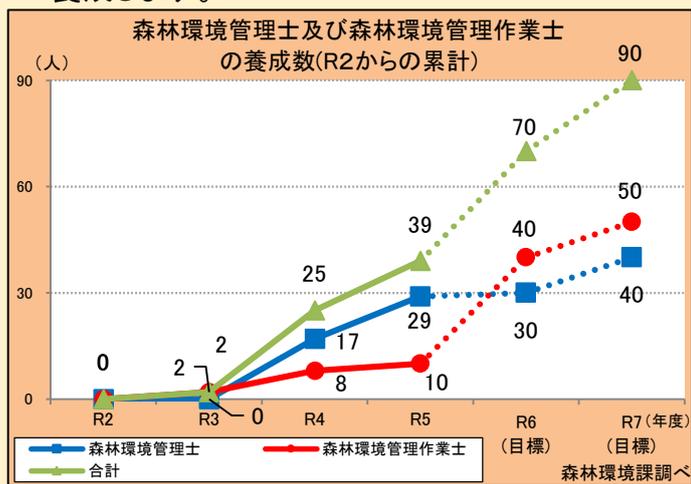
## 10. 林業の振興

### 目指す姿

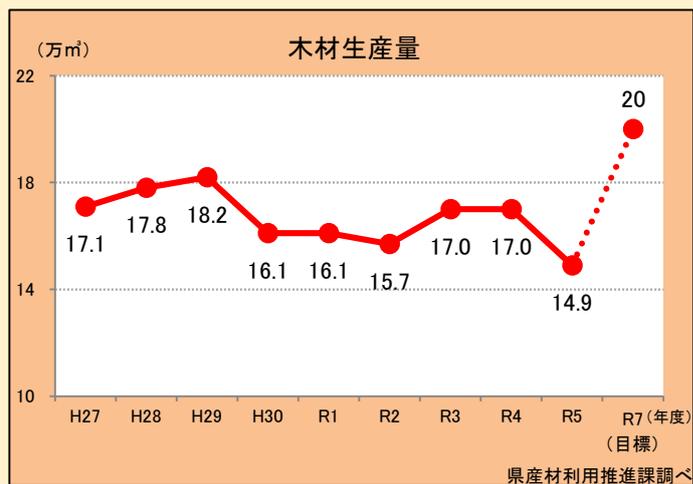
森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する施策を総合的かつ効果的に推進することで、奈良県の豊かな森林と人が恒久的に共存する社会の創生を目指します。

### 目標

○令和7年度までに森林環境管理士<sup>(注1)</sup>を40人、森林環境管理作業士<sup>(注2)</sup>を50人、合計で90人養成します。



○令和7年度までに木材生産量を20万<sup>3</sup>mにします。



(注1)森林環境管理士 … 奈良県フォレスターアカデミーフォレスター学科(2年制)を卒業した、森林管理を実施・指導する者

(注2)森林環境管理作業士 … 奈良県フォレスターアカデミー森林作業員学科(1年制)を卒業した、森林作業現場で高度な技能を発揮する者

### 主な施策

- ①新たな森林環境管理体制の構築・推進  
奈良県フォレスターアカデミーの運営、奈良県フォレスターの市町村への配置、新たな森林環境管理を担う人材の確保・育成、災害に強い森林づくり 等
- ②持続的に森林資源を供給する森林づくり  
森林経営計画等に基づく森林施業面積の拡大、作業道の整備や高性能林業機械等の導入による生産基盤の強化 等
- ③県産材の利用促進  
県産材の魅力の効果的な発信、建築物における県産材利用の促進、木材加工の効率化 等

| 主な取組                          | 令和7年度                          | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------------|--------------------------------|-------|-------|
| ①奈良県フォレスターアカデミーの運営            | 新たな森林環境管理を担う人材の養成              |       |       |
| ①奈良県フォレスターの市町村への配置            | 奈良県フォレスターの市町村への計画的な配置          |       |       |
| ①新たな森林環境管理を担う人材の確保・育成         | 林業就業者の確保・育成や関係団体に対する支援         |       |       |
| ①災害に強い森林づくり                   | 施業放置林の解消、混交林化(恒続林化、自然林化)の推進    |       |       |
| ②森林経営計画等に基づく森林施業面積の拡大         | 間伐等の森林施業に対する支援                 |       |       |
| ②作業道の整備や高性能林業機械等の導入による生産基盤の強化 | 作業道の整備や高性能林業機械等の導入に対する支援       |       |       |
| ③県産材の魅力の効果的な発信                | ポータルサイトやSNS等の多様なメディアによる情報発信    |       |       |
|                               | 奈良の木づかい運動推進月間(10月)等におけるPR活動の実施 |       |       |
| ③建築物における県産材利用の促進              | 県産材を用いた木造建築物の整備に対する助成          |       |       |
|                               | 木造建築を担う技術者の育成                  |       |       |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

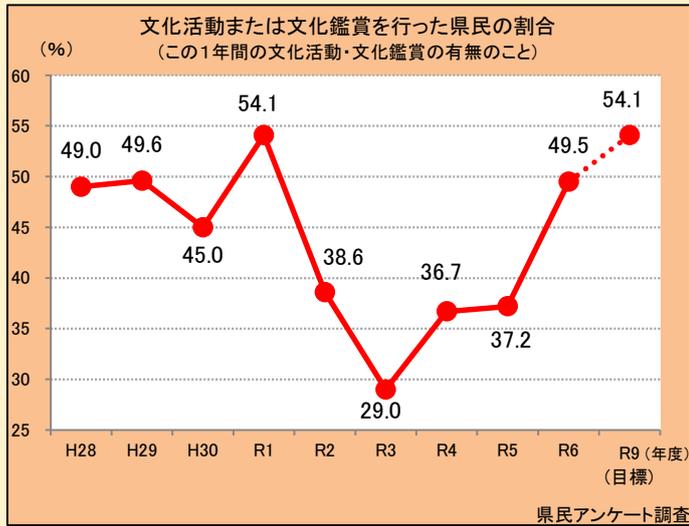
## 11. 文化の振興

### 目指す姿

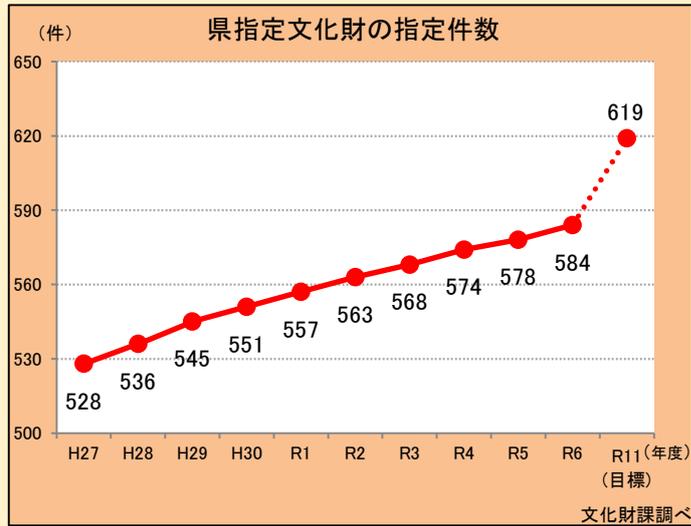
歴史文化資源に恵まれた奈良県の強みを生かし、幼少期から生涯を通じて文化に親しむことにより、各人が心を耕し、生きる力を得て、豊かな人生を送ることのできる環境づくりを目指します。

### 目標

○令和9年度までに文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合を54.1%以上にします。



○令和11年度までに県指定文化財の指定件数を619件以上にします。



### 主な施策

- ①文化財の保存と活用  
文化財保存修理の促進、未指定文化財の調査、文化財防災対策の推進、情報発信 等
- ②「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録  
「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録推進、史跡飛鳥宮跡等の整備推進、来訪者受入体制の充実、関係市村と連携した構成資産である史跡等の整備推進 等
- ③文化活動の振興  
県民の文化活動の充実への支援、地域における文化活動に対する支援、交流の促進、人材育成、伝統芸能等の継承・発展及び保存に対する支援、情報の収集及び発信 等
- ④国際交流の推進  
友好提携地方政府等との交流、多文化共生施策の推進 等

| 主な取組                 | 令和7年度   | 令和8年度           | 令和9年度 |
|----------------------|---|-----------------|-------|
| ①文化財保存修理の促進          | 所有者・管理者等が行う文化財の保存修理事業への補助   |                 |       |
|                      | 県有史跡の整備等  |                 |       |
| ①未指定文化財の調査           | 大型彫刻や古文書・絵画等の調査   |                 |       |
| ①文化財防災対策の推進          | 文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議の開催   |                 |       |
| ②「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録推進 | イコモス調査対応  | 世界遺産委員会で登録審議・決定 |       |
| ③県民の文化活動の充実への支援      | Nara for Culture(ムジーク)の実施、JNO(注)との連携、奈良県みんなでのしむ大芸術祭の開催、奈良県文化会館の整備、奈良県立美術館基本構想の策定、県有文化施設連携による文化の発信 |                 |       |
| ④友好提携地方政府等との交流       | 友好提携先地方政府等への訪問団の派遣・受入、青少年交流の実施  |                 |       |
| ④多文化共生施策の推進          | 奈良県多文化共生推進プランに基づく施策の実施  |                 |       |

(注)Japan National Orchestra

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

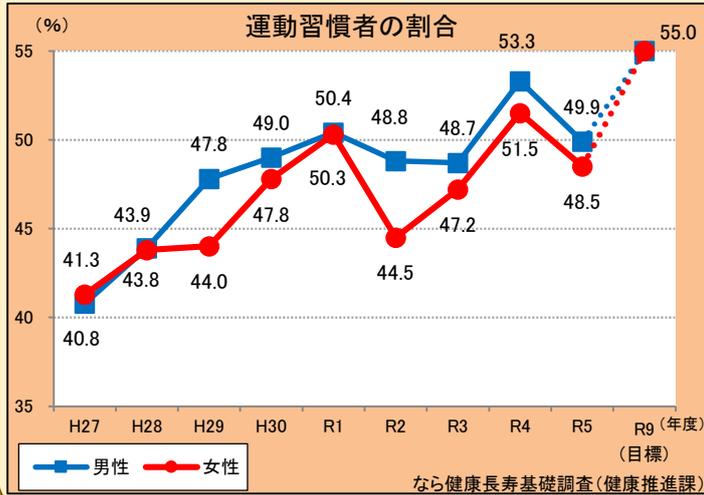
## 12. スポーツの振興

### 目指す姿

「体を動かす」「人を育てる」「活動の場をつくる」の3つを柱として施策を展開し、「生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現、ひいては「持続可能で活力ある地域社会」の実現を目指します。

### 目標

○令和9年度までに運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人)の割合を55.0%以上にします。



○令和9年度までにスポーツ指導者数を4,000人以上にします。



### 主な施策

- ①スポーツ参加の推進  
県民参加型スポーツの推進、子どものスポーツの推進、生涯スポーツの推進、障害者スポーツの推進 等
- ②スポーツの推進を支える人材の育成  
人材の育成(コーディネート・マネジメント・指導者)、選手の育成、サポート体制の整備、観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出、スポーツ団体のガバナンス強化による健全性・安全性の確保 等
- ③スポーツに親しめる環境づくり  
スポーツ環境の整備、情報発信、地域交流の促進、スポーツによる地域の活性化 等
- ④令和13年(2031年)国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備の推進  
会場地市町村・競技団体との調整、各種方針・基本計画に基づく準備 等

| 主な取組   | 令和7年度                                   | 令和8年度      | 令和9年度   |
|--|---|------------|---------|
| ①県民参加型スポーツの推進  | 奈良マラソンなど県民参加型イベントの実施                    |            |         |
|  | 総合型地域スポーツクラブの連携強化、運動のきっかけ・機会づくり         |            |         |
| ②人材の育成、選手の育成、サポート体制の整備、観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出、スポーツ団体のガバナンス強化による健全性・安全性の確保 | 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機とした競技力の底上げ       |            |         |
|  | スポーツ指導者等、マネジメント人材の確保・養成                 |            |         |
|  | 総合型地域スポーツクラブの育成・充実                      |            |         |
| ③スポーツ環境の整備、情報発信、地域交流の促進、スポーツによる地域の活性化                                  | 新アリーナ等のスポーツ拠点施設の整備                      |            |         |
|  | スポーツ情報の発信強化                             |            |         |
|  | 地域との交流機会の創出、スポーツツーリズムの推進、プロスポーツの試合や大会誘致 |            |         |
| ④会場地市町村・競技団体との調整、各種方針・基本計画に基づく準備                                       | 中央競技団体視察                                | 開催申請(開催内定) | 各種準備の推進 |

# Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

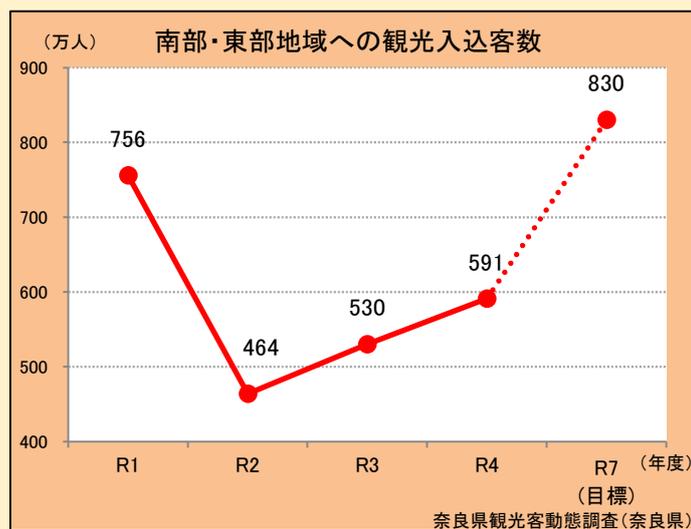
## 13. 南部・東部地域の振興

### 目指す姿

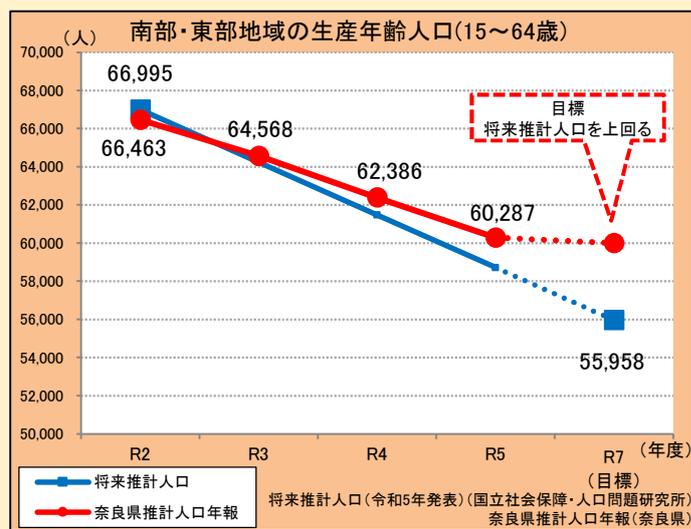
急激な人口減少が進むなか、南部・東部地域において、森林と水を守りつつ、人と経済の循環を高め、持続可能な地域社会の形成を目指します。

### 目標

○令和7年度までに南部・東部地域への観光入込客数を830万人以上にします。



○令和7年度までに「生産年齢人口(15～64歳)」が将来推計人口を上回ることを目指します。



### 主な施策

#### ①定住の促進

「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」及び「南部・東部振興基本計画」に基づき、人材育成、産業の振興及び雇用の創出、移住体験プログラムなど、移住・定住の促進に係る取組等

#### ②交流の促進

「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」及び「南部・東部振興基本計画」に基づき、魅力の創出と情報発信の強化、滞在型・宿泊型観光の推進、地域の魅力を活かしたイベント等の実施など、交流の促進に係る取組等

#### ③力強い市町村づくり

「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」及び「南部・東部振興基本計画」に基づき、市町村と連携したまちづくりの推進、地域の魅力の向上及び発信、「奈良モデル」の推進、市町村行政経営向上への取組支援、地域デジタル化の推進等

| 主な取組                | 令和7年度                              | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------------------|------------------------------------|-------|-------|
| ①移住・定住の促進に係る取組      | 専門人材の確保・育成、新規事業開拓及び販路拡大の促進         |       |       |
|                     | 奥大和移住定住交流センター(engawa)を通じた奈良県への移住促進 |       |       |
| ②魅力の創出と情報発信の強化      | WEB・映像等様々な媒体の活用、首都圏交流拠点等における情報発信   |       |       |
| ②地域の魅力を活かしたイベント等の実施 | 奥大和地域の自然を活用したアウトドア・スポーツツーリズムの推進    |       |       |
|                     | うだ・アニマルパークにおける東部地域の魅力発信イベントの実施     |       |       |
| ③市町村と連携したまちづくりの推進   | 奥大和地域の市町村と協働したまちづくりの推進             |       |       |
|                     | 地域支援員の活動を通じた市町村等との協働・支援            |       |       |

# IV 3つの責任をしっかりと果たすために

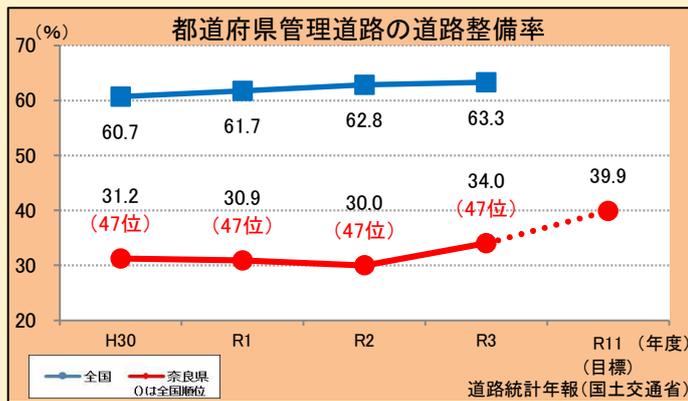
## 14. 県発展のための基盤整備

### 目指す姿

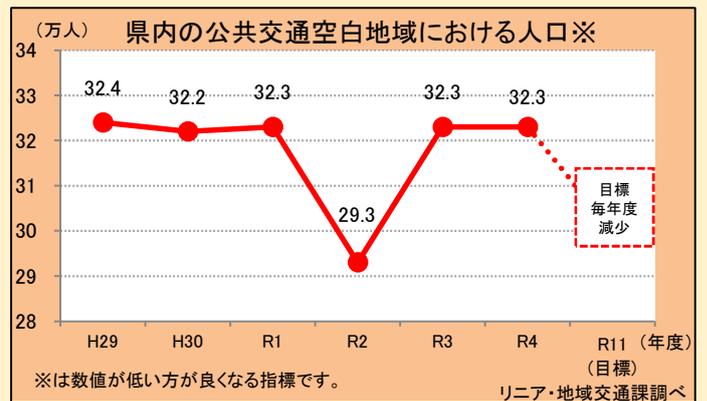
リニア中央新幹線の全線開業と「奈良市附近駅」設置の整備効果を最大化し、県全域に波及させるため、広域道路ネットワークを構築するとともに、地域公共交通の活性化を図ることにより、高い経済波及効果と地域住民の利便向上の両立を目指します。

### 目標

○令和11年度までに奈良県管理道路の道路整備率(注)を39.9%にします。



○県内の公共交通空白地域(注)における人口を令和11年度まで毎年度減らします。



### 主な施策

- ①リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等  
「奈良市附近駅」の位置及び県内ルート早期確定、リニア中央新幹線の整備促進に関する調査・検討 等
- ②奈良県管理道路の計画的な整備  
道路整備の加速化、骨格幹線道路ネットワークの整備推進 等
- ③京奈和自動車道等の早期全線開通  
京奈和自動車道の整備推進、(仮称)奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能等の強化 等
- ④利用者目線に立った効率的な道路のマネジメント  
ならの道リフレッシュプロジェクト、ワンレスプロジェクト(小規模道路改良提案制度)、道路施設(橋梁、トンネル等)の老朽化対策 等
- ⑤地域公共交通の活性化  
県内公共交通の維持・充実に向けた取組の強化、地域の輸送資源・多様な交通モードの活用、自動運転バス等の新たな交通サービス実装に向けた取組の強化、EVバス導入の支援 等
- ⑥公共工事の品質確保の推進  
建設工事等に係る入札契約制度の見直し 等

| 主な取組                     | 令和7年度   | 令和8年度                              | 令和9年度                       |
|--------------------------|---|------------------------------------|-----------------------------|
| ①「奈良市附近駅」の位置及び県内ルートの早期確定 | 駅位置の早期確定やリニア中央新幹線の整備促進に関する調査・検討 等   |                                    |                             |
| ②骨格幹線道路ネットワークの整備推進       | 紀伊半島アンカールートをはじめとする広域道路ネットワークの整備促進<br>国道168号：新天辻工区(県)、長殿道路(国)、風屋川津・宇宮原工区(国)、十津川道路(Ⅱ期)(国)<br>国道169号：御所高取バイパス(県)、高取バイパス(県)、伯母峯峠道路(国)、下北山村前鬼～上池原(国) |                                    |                             |
|                          | 道路整備の推進<br>(6箇所(注)供用予定)   | 道路整備の推進<br>(5箇所(注)供用予定)            | 道路整備の推進<br>(R7年度に供用箇所の宣言予定) |
| ③京奈和自動車道の整備推進            | 用地・工事推進(事業者：国・NEXCO西日本)<br>(仮称)奈良ICから奈良市中心市街地部へのアクセス道路整備、JR関西本線新駅設置の推進  |                                    |                             |
| ④ならの道リフレッシュプロジェクト        | ①舗装の耐久性向上 ②区画線の維持管理 ③草刈りのメリハリ化 ④道路維持管理のDX(~R10) ⑤市町村と連携した支障木伐採  |                                    |                             |
| ④道路施設(橋梁、トンネル等)の老朽化対策    | 道路施設(橋梁、トンネル等)の定期点検及び診断結果や長寿命化修繕計画に基づく施設の修繕   |                                    |                             |
| ⑤県内公共交通の維持・充実に向けた取組の強化   | 多様な関係者が参画する「エリア公共交通検討会議」で改善策を協議・実施  |                                    |                             |
| ⑤自動運転サービス実装に向けた取組の強化     | 前年度の課題を踏まえた<br>実証実験の実施  | 技術・法制度の進展や他地域の取組事例を注視し<br>レベル4実装検討 |                             |
| ⑥建設工事等に係る入札契約制度の見直し      | 予定価格等の公表時期、総合評価落札方式のあり方の検討・見直し等による競争性と品質の確保   |                                    |                             |

(注) 令和7年度に追加宣言予定

# IV 3つの責任をしっかりと果たすために

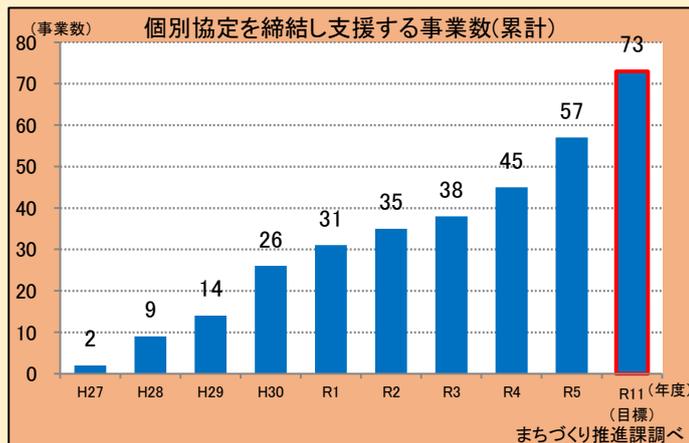
## 15. まちづくりの推進

### 目指す姿

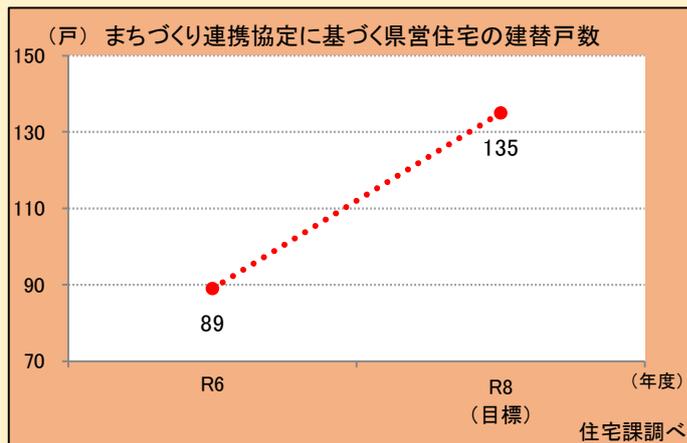
広域的な観点から、地域創生に資する拠点を中心としたまちづくりについて、地域再生の基本理念に則り、県民が住みよい地域社会の実現に向け、県と市町村が相互に連携・協働して、地域の特性に応じた快適で魅力ある都市形成やその持続的発展を目指します。

### 目標

○令和11年度までに市町村と個別協定を締結し支援する事業(注)数をコロナ禍が始まった令和2年度に対し、倍増の73事業にします。



○令和8年度までにまちづくり連携協定に基づく県営住宅の建替に伴う新規供給戸数を135戸にします。



(注) 奈良県と市町村との「まちづくり連携協定」による取組の事例

駅併設施設整備事業  
＜川西町近鉄結崎駅周辺地区＞



駅併設賑わい施設の整備イメージ



近鉄郡山駅周辺整備事業  
＜大和郡山市近鉄郡山駅周辺地区＞



新駅舎と駅周辺の整備イメージ

### 主な施策

- ① 県と市町村とが連携・協働したまちづくりの推進  
都市基盤の現況調査及びデジタル化による情報発信や地域活性化イベントなどのソフト事業、病院などの公共施設拠点整備事業、交通結節点整備などのインフラ事業等、魅力あふれるまちづくりの推進
- ② 奈良県住生活基本計画に基づく持続可能な「住まいまちづくり」の実現  
空き家を活かしたまちづくり、公営住宅ストックの活用、良質な住宅の供給の促進 等

| 主な取組             | 令和7年度                                     | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------|---|-------|-------|
| ① 魅力あふれるまちづくりの推進 | 都市計画に関する調査、まちづくりの方針検討、プロジェクトの実施、市町村に対する支援 |       |       |
| ② 空き家を活かしたまちづくり  | 空き家対策の推進                                  |       |       |
| ② 公営住宅ストックの活用    | 県営住宅桜井団地建替事業を通じたまちづくりの推進                  |       |       |
| ② 良質な住宅の供給の促進    | 長期優良住宅の供給の促進、マンションの適正な維持管理の促進             |       |       |

# IV 3つの責任をしっかりと果たすために

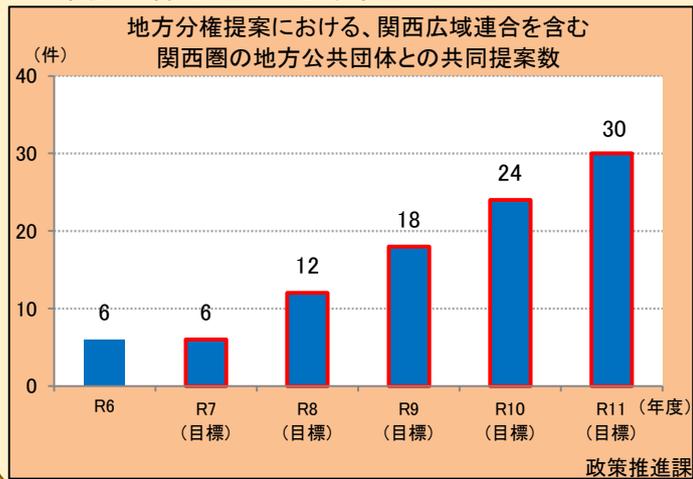
## 16. 広域での連携

### 目指す姿

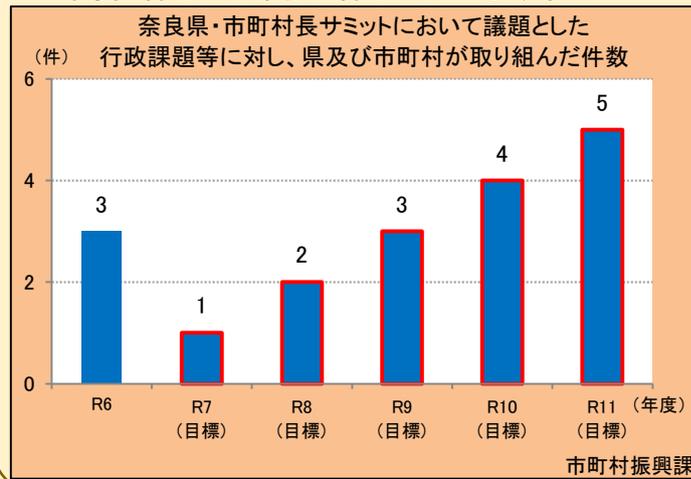
関西広域連合等において、広域で連携して課題の解決に取り組むとともに、県と市町村、市町村間または民間等とも連携・協働し、地域の活力の維持・向上や持続可能で効率的な行財政運営を目指します。

### 目標

○地方分権提案における、関西広域連合を含む関西圏の地方公共団体との共同提案数を、令和7年度から令和11年度まで各年度6件以上・累計30件以上にします。



○奈良県・市町村長サミットにおいて議題とした行政課題等に対し、県及び市町村が取り組んだ件数を、令和7年度から令和11年度まで各年度1件以上・累計5件以上にします。



### 主な施策

#### ①関西圏の地方公共団体等との連携

関西広域連合への全部参加、効率的・効果的な広域行政の推進、大阪・関西万博を契機とした地域活性化等

#### ②県と市町村、市町村間、民間等との連携・協働

奈良県・市町村長サミットの開催、奈良モデルによる自治体間の広域連携の支援、市町村への権限移譲、奈良県まちかどトークの開催、地域課題解決のため民間等との連携・協働の推進等

| 主な取組                    | 令和7年度                        | 令和8年度                | 令和9年度   |
|-------------------------|------------------------------|----------------------|---------|
| ①関西広域連合への全部参加           | 構成府縣市との連携、国への働きかけ            |                      |         |
| ①大阪・関西万博を契機とした地域活性化     | ● 万博開幕<br>万博会場での催事<br>県内での催事 | 万博のレガシー活用            |         |
|                         |                              |                      |         |
| ②奈良県・市町村長サミットの開催        | サミットの開催                      | サミットの開催              | サミットの開催 |
| ②地域課題解決のため民間等との連携・協働の推進 | 協働推進指針改定検討                   | ● 指針改定               |         |
|                         | 民間等との協働施策について県・市町村間で検討       | 協働推進施策の推進            |         |
|                         |                              | 包括連携協定など企業との連携・協働を推進 |         |

# IV 3つの責任をしっかりと果たすために

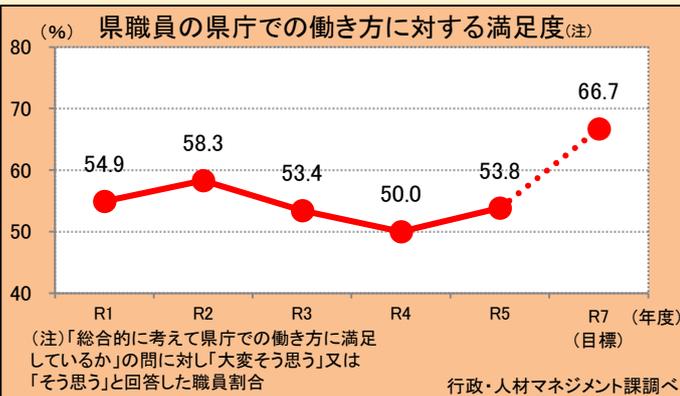
## 17. 県庁の働き方・職場環境改革の推進

### 目指す姿

職員が健康でいきいきと職務に従事し、県民の幸福や奈良県の発展を実現できるよう、健康を基本的価値とし、自由闊達で風通しが良く、明るく創造的で、生産的な職場環境の実現を目指します。

### 目標

○令和7年度までに県庁での働き方・職場環境に満足している職員の割合を66.7%以上にします。



○改革の実施状況をフォローアップするため、「県庁の働き方・職場環境改革推進会議」を定期的で開催し、「奈良県行政運営の基本計画」に盛り込んだKPIの達成状況等を確認します。



県庁の働き方・職場環境改革推進会議

### 主な施策

- 健康が基本的な価値となる組織の構築  
勤務時間管理の徹底・厳正な運用、休暇の推奨等を含めた「オフ」の確保、メンタルヘルス不調の未然防止措置と職場復帰支援の拡充 等
- 創造性を促し、生産性を高める環境の整備  
創造性を促し生産性が高くなるオフィスの創出、業務の水準・構造・手順の見直し 等
- 多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備  
多様なバックグラウンドの人材を包摂する勤務制度の整備、多様な人材の採用・登用・活用制度の構築 等
- 組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備  
有為な外部人材等との交流及び連携・外部人材の活用、組織内外と知恵・情報を共有できる環境整備 等
- 主体的に意欲的な課題設定ができる環境整備と組織運営  
社会の変化を捉え、職員が主体的に課題設定できる環境整備、基本理念・方針の実現に資する人材による組織運営 等
- 楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成  
実践的かつ効果的な研修の実施、重畳的でなく合理的な意思決定による業務運営 等

| 主な取組                        | 令和7年度                              | 令和8年度※ | 令和9年度※ |
|-----------------------------|------------------------------------|--------|--------|
| ①勤務時間管理の徹底・厳正な運用            | 勤務時間適正管理システムの運用                    |        |        |
| ②創造性を促し生産性が高くなるオフィスの創出      | Well-beingなオフィスの整備                 | 運用     |        |
| ③多様なバックグラウンドの人材を包摂する勤務制度の整備 | フレックス制、テレワーク等の推進                   |        |        |
| ④有為な外部人材等との交流及び連携・外部人材の活用   | 基礎能力検査(SPI等)を活用した試験の実施             |        |        |
|                             | 転職求人サイト等を活用したリクルート活動               |        |        |
| ⑤基本理念・方針の実現に資する人材による組織運営    | 職員の意欲的な取組を促す人事評価制度の運用              |        |        |
| ⑥重畳的でなく合理的な意思決定による業務運営      | 所属の統廃合による大括り化・管理職ポストの削減などの組織体制の見直し |        |        |

※令和7年度に「奈良県行政運営の基本計画」を改定し、令和8年度以降は、新たな計画に基づいて取組を推進

# IV 3つの責任をしっかりと果たすために

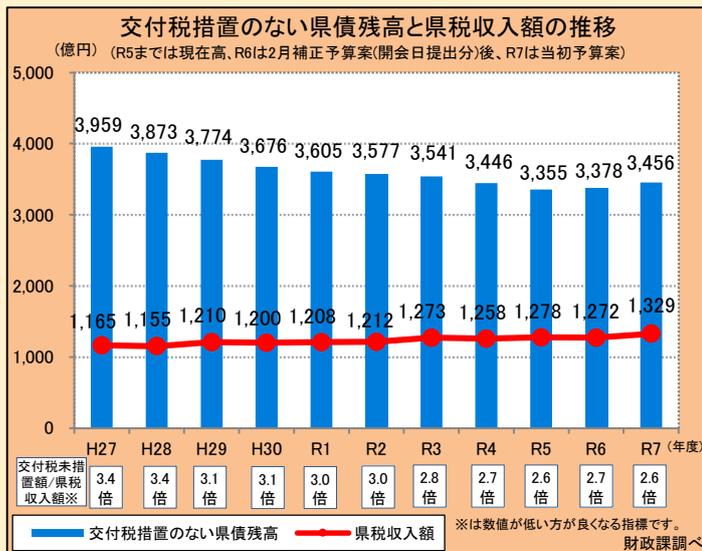
## 18. 徹底した行財政改革

### 目指す姿

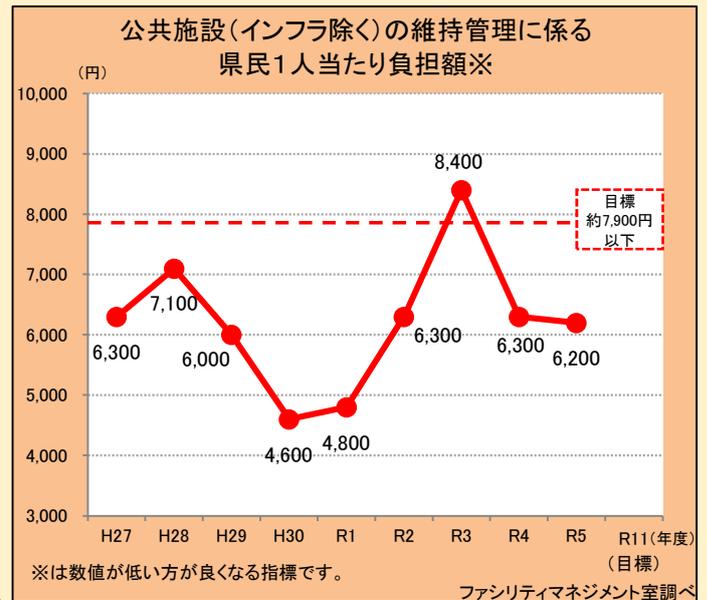
奈良県がもつ限りない可能性を最大限に引き出し、県民が暮らしの豊かさを実感できる奈良県を目指し、県の施策や事務事業の再構築に取り組みます。

### 目標

○今後国民スポーツ大会に向けたアリーナ整備等が必要となる中、「交付税措置のない県債残高/県税収入額」を令和11年度まで概ね現状の水準に維持します。



○令和11年度まで公共施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額を約7,900円以下に維持します。



### 主な施策

- ①デジタル戦略の推進  
奈良スーパーアプリによる行政サービスの変革、行政手続のオンライン化、迅速・確実な情報発信 等
- ②県有資産のファシリティマネジメント(活用・維持・管理)  
未利用資産の活用(売却等)促進、県有資産の有効活用・適正管理 等
- ③県税収入の確保  
県税の徴収強化、県税の納付手段の多様化 等
- ④歳入・歳出の見直し  
既存事業の廃止・見直しの徹底、経済対策等の国予算や財源措置のある有利な県債の活用 等

| 主な取組                               | 令和7年度                                 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------|-------|
| ①奈良スーパーアプリによる行政サービスの変革、行政手続のオンライン化 | システム稼働・機能拡張・行政手続のオンライン化及び行政サービスの拡大    |       |       |
| ②未利用資産の活用(売却等)促進                   | 未利用資産の有効な活用方策検討、売却に向けた条件整理(境界確定等)の推進  |       |       |
| ③県税の徴収強化                           | 自動車税コールセンターの運営、市町村への職員派遣による個人住民税の徴収強化 |       |       |
| ④既存事業の廃止・見直しの徹底                    | 予算編成過程において不断の見直しを継続                   |       |       |

# 「各分野で取り組む施策」と「SDGsの17ゴール」との関係

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指した世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられ、2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



「令和7年度奈良県政策集」に盛り込んだ「各分野で取り組む施策」と「SDGsの17のゴール」との関係は以下のとおりです。奈良県では、これらの施策を推進することでSDGs達成につなげていきます。

## I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任

### 1. 安全・安心の確保



### 2. 福祉の充実



### 3. 医療の充実



## II 奈良県の子ども、若者の未来への責任

### 4. こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進



### 5. 教育の充実



## III 豊かで活力ある奈良県を創る責任

### 6. 脱炭素社会の実現



### 7. 工業・商業の振興



### 8. 観光の振興



### 9. 食と農の振興



### 10. 林業の振興



### 11. 文化の振興



### 12. スポーツの振興



### 13. 南部東部地域の振興



## IV 3つの責任をしっかりと果たすために

### 14. 県発展のための基盤整備



### 15. まちづくりの推進



### 16. 広域での連携



### 17. 県庁の働き方・職場環境改革の推進



### 18. 徹底した行財政改革



# マネジメントサイクルの推進



PDCAサイクルにより、奈良県発展のための政策を実現します。

「令和7年度奈良県政策集」

令和7年2月  
奈良県 総務部知事公室 政策推進課  
〒630-8501  
奈良市登大路町30  
TEL 0742-27-8472  
URL <https://www.pref.nara.jp/65619.htm>



政策推進課HP  
詳しくはこちら